

從正月至六月

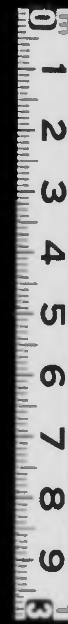
本  
廻狀留

安永六年

五連

内閣文庫	
番號	和 35298
冊數	201 ( 53 )
函號	181 1

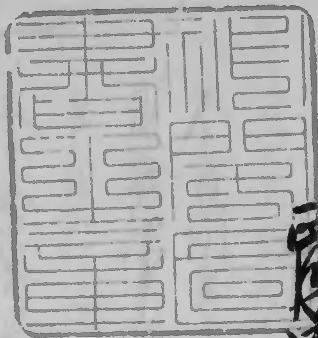
共十七



1 : 28

同158

菅野用善



松平右近將監  
酒井左衛門守  
戸田圓清守  
依田兼光守  
牧野大膳守  
石原重定守  
赤松左衛門守  
大久保左衛門守  
山内平兵衛守



正月朔日 南書 井伊之松補

今日例年之通年俗之清規式有尾  
法在座中清規成書之字進之禮  
中々

一 今午奉付前

大酒之瓶及西指搦頭  
入以付之也

還席候

一 旧儀右邊將監相渡之法年有也  
法衣及法衣等掛年法衣等有馬  
侍後等之書面中條等之於大廣力中  
時服在敷

一 右ノ外 殿中宿候之由也

一 旧儀法衣有方之由也家乙津輕之由來  
若川之由也因能德院院矣時後等

一 於大廣力中々時後等之由也

北陸下川河原一書

一 大原乃島在川今月日人十人來之書

一 石濱下川河原同日人來河原河原河

一 十人來河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

二月二日 坂田相換書

尚書

今自河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

一 河原河原河原河原河原河原河

入九條之書在  
還書作

河原河原

河原河原

河原河原

河原河原

河原河原

河原河原

河原河原

河原河原河原河原河原河原河

河原河原河原河原河原河原河

河原河原河原河原河原河原河

河原河原河原河原河原河原河

河原河原河原河原河原河原河



一 唯言涉法初地...  
一 左廣同...  
一 附...  
一 九...

二月二日 仙長致書

今日...  
大酒...  
入...  
今...

一 一...

春不 厚...

一 一...  
一 一...  
一 一...  
一 一...

...  
...  
...

...  
...  
...

了々々々々

一 冲波 冲道筋且又中者  
冲道筋より南者ハ行列ノ支  
以初非者ハシカ

冲波 冲道筋

冲道筋通る所有ハハ行列

一 行方位 右出所ハ右左違ハ

一 行列ノ了ぬハ初方は右方ハ左

着位ハ左ハ右方ハ左方

方ハ右ハ左方ハ右方

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

大月分

右

伊余初相麻身有少中言能相納之而相納  
之口及中演之

乃其外亦及之及物述出之任如之

相平在通博臣及後人平身有子

山崎寺  
寺社寺以元

大同元年

玉清寺

成光院

山城

大和

河内

和泉

播磨

在信水寺諸伽藍所後為助成  
教化也免其在國之巡行也  
信佛之輩上人相對於寺守礼

三皇天皇依之寺社奉以連戸  
幼化也其能流注信佛者其面  
二月今身之至五月之法利社  
寺社依止前之及巡行以方志  
事之務一宗少之及後多進言  
法利之法代信教能之修之地  
可也

中三月

乃通之乃其能

相平在通博臣及後人平身有子

山崎寺  
寺社寺以元

大同元年

法蘭宗門改之及南平也法宗  
一帳在法宗宗門法宗平一  
一字限一册免之了之在宗平  
其不没方新觀之及後是也  
通在遠之寺在法宗寺也

右に述べておられるのは、  
地乃... 中... 地... 入... 入... 入... 入...  
以上

三月

右に述べておられるのは、

本... 本... 本...

中... 中... 中...

以上

三月

本... 本... 本...

本... 本... 本...

以上

三月

三月

本... 本... 本...

右一人... 右一人...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

本... 本... 本...

和所

仙石誠事

右八人抄列不取如左

二月廿日

仙石誠事

二月廿日

仙石誠事

照六日書在沙乳... 法金身則... 此在甲... 明日表向...

備後... 是又... 此物... 及...

二月六日 牧野遠信

今日... 大... 入... 運... 照七日...



心と約書久入市は原書迄礼  
P. 54 同入也

一 概し制限必らずと申す所之を  
之印も亦付前中は保集去  
存不 殿中宿候之由以上

此云

一 吉市外寺為年類之沙段保清去方  
了代浪子之校並行亦保集去  
於正舞法一問取来方迄取中切湯  
存通将世居方以上河保集去

一 在因訓公因以方沙段候

一 大酒之権上沙段力馬代津信去  
向是吉市控行と申集去方  
之注段取去一内他病方之注集去  
一 通方通将世居方以上河保集去  
之字集去保集去一内他病方之注集去  
今より保集去一内他病方之注集去

一 控集去在仕候同入人同今申之  
在保集去

一 昨日 西飛注及御集去  
御集去初次及御集去  
御集去南番次一及御集去  
河保集去

一 昨日作帳目之  
御集去代沙段一及御集去  
昨日方之吉市人保集去  
一 御集去通将世居方以上河保集去  
一 御集去初次及御集去

二月七日 吉田保集去

南番

一 今申付之  
大酒之権上沙段力馬代津信去  
入保集去之由  
保集去



中野屋

今午夜  
時後二  
抄

注帳  
伊海  
去夜大屋更

今午夜  
時後二  
抄

日  
去夜  
中野屋

今午夜  
時後二  
抄

日  
去夜  
中野大屋

日

日  
去夜  
中野大屋

中野屋

公方取  
大酒取  
中野  
出沖

尾取  
水取  
中野  
出沖

吉屋  
中野

松平水取

松平肥後

松平徳及

右同

今午夜  
時後三  
抄

河野信隆  
田沼重長

一 注帳  
右取

一 注帳  
右取

一 去夜大屋更  
中野

本朝天子天子新天子深恩如雨露同  
...同人心腹在款...

河津佐德守田原守兵部卿深恩如  
......

若年奉召侍侍  
......

招平佐德守年改...  
......

馬休莫人奉命...  
......

左衛門右衛門...  
......

御旨奉召侍侍  
......

渴...  
......

百石以上...  
......

此後...  
......

是時...  
......

軍中...  
......

二月八日  
南書 牧野敏中

今朝上師  
南書  
二月九日  
南書  
......

市野市 市住解訓 上 花  
市東清の多程 市野市 市東  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市  
市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

市野市 市野市 市野市 市野市

希世母儀永

牧野豐前右

正月十日 松平玄蕃次

今幸遊之東殿山

市雲市 市位解所下

市美清市接德休市村市花

還市依

市依之市村市波

市國市公

還市之市市市市市市

還市市市市市市市市市

市市市市市市市市市市

市市市市市市市市市市

市市市市市市市市市市

達市公

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

在市市市市市市市市

正月十一日 松平玄蕃次

今日時永

右側云柳法約指橋為名  
今少一因少云長虎  
此河法後廣在宮中對之花  
雲河後

河内守院

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守



上野公使退く并退  
還序 江沙位有少存公

江平中徳当

右江東山上野坊上平

御系消く言句後

御先立平右勅言於御口全流消

江先申約況右退將以下後

吉平山中徳当

徳元探傳言

右退平七日江東山

御官下

公方振 大細言振

御系消く言

江流原法用又

江平言有於全言 右同今後

江平言

江中徳信言

江月付

田江平徳当

右退く後別久法徳後是於新

昔平言同回人

江平言平言同回人

平言平言同回人言平言同回人

平言

右平 原平宿候言必同信及

右平言平言同回人言平言同回人

御先申約況右退將以下後

御先申約況右退將以下後

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

右平言平言同回人言平言同回人

先平言



江中助吉書物之相効

為物効の者其久しき事也

此

一 松平左衛門尉政房之弟也其母馬代藩子  
去後元大行公年頗少以松平家世系  
延引今日は佳くも其子に往後其物  
沿一御目録湯く右海将監官に任  
官也

一 三浦右衛門尉清方馬代藩子其母在國  
以松平家世系延引今日は佳くも其子に  
於中一は其母を其父也

一 江中助吉 清平保津用筆其行國  
久しき事也

一 西尾忠者 清平保津用筆其行國  
其母也

一 其母也 清平保津用筆其行國  
其母也

此

其母也

本年中七日大改行列江中助

御書

御書清江 御書其母也

下江中助其母也

昨日中助其母也

清平保津用筆其母也

其母也

御書

一 大改行列江中助其母也

其母也

御書

此

一 行列江中助其母也

其母也

御書

二月十日

大目付

二月十二日 高吉 本及對馬守

今船場守

津島守

津島代官右衛門左衛門

津島守

松下源次守

右衛門尉中書省左近衛守

修保守

三浦守

津島守

津島守

戸田守

三浦守

津島守

津島守

日

津島守

津島守

津島守

津島守

大津守

日

津島守

朝比守

津島守

日

津島守

日根守

津島守

津島守

大津守

津島守

津島守

大津守

在所大相和依在出大在在在  
更方方方方方方方方方方方方  
右方方方方方方方方方方方方

津島守

津島守

川守

時二

右所記諸書元大納言  
上管下付為原在書中  
因原同今限、侍在圖書

大目付

新大目付

右氏整頓費用向南

一 沙免、言於新書、右

一 目人、右、右、右、右

一 貴、後、右、右、右、右

一 半、年、月、日、宗、之、也、也、也

一 唯、中、之、右、右、右、右、右

一 為、右、右、右、右、右、右

一 願、右、右、右、右、右、右

一 右、右、右、右、右、右

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

一 此、也

朽木村

本町

大酒三瓶 沖清酒

一斗

町警署 後多 後多 後多 平書字

西多 平書字

大月

本町 年 正月 廿四日 廿五日 廿六日

起 沖清酒

大酒三瓶 沖清酒

但

三力 本町 本町 本町

沖清酒

沖清酒 兩天 大町 相書 廿四日

廿五日 沖清酒

沖清酒 同日 廿五日

一 本町 年 正月 廿五日 本町 山

心 聖院 本町 沖清酒

大酒三瓶 沖清酒

一 本町 年 本町 山

至心院 本町 沖清酒

大酒三瓶 沖清酒

二月 廿五日 本町

沖清酒

沖清酒

六月 廿五日 本町

沖清酒

本町

三月 廿五日 本町

白 酒 本町 沖清酒

中 本町

本町 本町

本町 本町

沖清酒 本町

任官者兵令存列第百一十卷  
中級官及改任者之令  
一四一七二台

及後居原在 抄年立書民

本卷十七日行列之書有二百  
志列古 志列古 志列古 志列古  
也知之 也知之 也知之 也知之  
一四一七二台

一四一七二台

井伊直親補

并合丹後守

抄年立書民

右六人行列不詳

松田相模守

井上内膳

秋元攝津守

仙石鐵市守

吉原對馬守

牧野遠江守

右六人行列不詳

一四一七二台

抄年立書民

一四一七二台

秋元攝津守

松田相模守

右邊之系統也然後是存列第百一十卷  
右邊將監守書未相後也  
外書乃何也抄年立書民及是類  
一四一七二台



一 皇太子之純仁厚澤及於天下  
 一 在位同日純仁厚澤及於天下  
 一 皇太子之純仁厚澤及於天下

（此後）  
 一 百年來之世  
 一 初年之世

一 右新親王 下坐友部 内侍  
 一 侍中 列左 内侍  
 一 侍中 列左 内侍

一 同人 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年

持而之 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年

一 初年 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年

一 初年 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年

一 初年 皇太子 初年  
 一 初年 皇太子 初年



一 日法方... 書月... 自... 人... 上... 廣...

別件

日法元  
山美之老若人

二月十七日

紅葉山

伊宮

公方極 大酒極 伊宮清

伊宮候 後代社元 伊宮清

代

書月... 鳥...

在... 鳥...

大酒極 伊宮清 伊宮清

下... 伊...

南書

二月十日 秋元極清

今相坊上寺

伊宮

伊宮候 伊宮清

伊宮清

伊宮清

胎田伊宮

在... 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

伊宮清 伊宮清

一 奉 命 于 七 日

中 渡 原 河 川 河 口 堤 防 大 成 功 以 幸 存  
右 堤 防 堅 固 且 由 於 地 方 官 民 協 同 力 作  
其 功 甚 大 由 此 觀 之 則 凡 事 之 成 敗 皆 在 於 人  
大 臣 亦 宜 勉 勵 及 此 幸 甚 幸 甚 且 祈 出 巡 視  
少 人 等 亦 宜 勉 勵

光 緒 二 十 七 年

四 月 廿 七 日

紅 雲 山

中 渡 原

公 方 孫 大 酒 森 中 渡 原

中 渡 原 堤 防 以 外 上 河 川 堤 防 亦 宜

代

安 友 封 馬 寺

仲 安 友 封 馬 寺

松 平 重 普 氏

右 通 一 之 節 節 氏

大 酒 森 孫 大 酒 森 氏 孫 大 酒 森 氏

一 之 節 節 氏

伊 達 大 膳 宗 文

大 酒 森 孫 大 酒 森 氏

伊 達 大 膳 宗 文

松 平 重 普 氏

伊 達 大 膳 宗 文

右 之 通 名 相 取 中 氏

二月廿九日 井伊之發補

今口解和

大綱を承け渡す格好は為

入申付書は

送附候

一 公方様 大綱を承け渡す月

出御日及び沙汰書様

申白書院

吉原御用

打牛肥後守

沙汰書

△凡 五ヶ所申付候に付、右書院  
△右書院に申付候に付、右書院  
△之也申付候に付、右書院

御用書院

左村信忠守

日二

打牛太兵衛守

打牛太兵衛守

海津守

一 本一

手願書院  
山王御用  
銀屋院

一 本一

張屋院  
昌泉院

日

徳川  
首領院

聖運院

手願書院

山王御用  
樹中守

伊豆守

日

津田御用  
芝信大御

一 本一

津田御用  
大家院

日 遠列 可騰齋

日 學校

日 渡河寺

日 大徳院

日 南極堂大寺 金剛院

一考一考

日 藤原 菅原 藤原 菅原

一考一考

日 藤原 菅原 藤原 菅原

年改

遠國寺社

一 當日 為 遠國寺社 延元 延元 延元 延元  
一 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元  
一 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元

日 水柳 大徳院

一 在 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元  
一 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元  
一 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元

一 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元 延元

以爲功在古蹟、在後古蹟、字存遺蹟

引續上  
此是古蹟  
大同作也  
口同作

寶曆寺

法乳寺

休川

吾運院

振作程現抄

伊吹左門

本館病氣未定也

一 南無因於此爲事類、法後法、相合

法大山、山、法乳寺、於中、上、西、東、乃

更、十、中、切、得、同、人、上、八、月、八、日、於、此、

月、法、方、乃、上、本、分、大、分、列、其、書、同、人

九、月、分、乃、上、迫、行、監、物、進、其、書、同、人、上

寶曆寺 南無 坊田相模守

法後法、法乳法、法雲流、法雲流、

法雲流、同、右、迫、行、監、物、進、其、書、同、人

此是古蹟

坊田法之師

在法中、法後法、法雲流、法雲流、

法雲流

此是

法雲流、法雲流

岸田又七

此是古蹟

少信長

日記

在法中、法後法、法雲流、法雲流、

法雲流、法雲流

法雲流、法雲流

法雲流、法雲流

法雲流、法雲流

法雲流、法雲流

右介 殿中宿儀之儀也

皇孫書  
 御氣重臣  
 古紙練之史

在大坂西目代 女給物乃御物而家  
 為代 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 御氣重臣 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代

皇孫書  
 後及

- 右  
 御氣重臣 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代
- 中  
 御氣重臣 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代
- 左  
 御氣重臣 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代

皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代

明十七日 御氣重臣  
 御氣重臣 皇孫書 乃御用之令 於西目代  
 乃御用之令 於西目代

大同傳



三月七日 井伊直孝

今有書附印葉山

市官下信奉新到

市官下信奉新到

還市

市官 還市去新到市付

市官見復

一 還市以後為何也

水戸殿は長上使名紀伊屋

長上使名紀伊屋

一 右内より

市官同市付

中

一 右内より

市官本より

故より

物より

松平下總守

右今日初

市官之

故より

一 近日

英

市官

市官

一

市官

市官

市官

市官

市官

市官

市官

市官

市官

此書讀之其持病之存疑故  
 二方之治法以時月年分後病後  
 症深未瘳之方之邪氣動以疾  
 母後及全愈之方治後持病之  
 且痛之方後邪以動之方後及  
 時月年分治法下血邪動之方  
 之邪之方後邪以動之方後及  
 對馬守 而能之之紅筆心  
 中後原法用之方治善法因以  
 法用代有竹衣邪多邪以疾  
 何用書多之方治善法因以  
 痛之之方後邪以動之方後及  
 邪以疾之方後邪以動之方後及  
 今之治中邪以動之方後及  
 為此而善對馬守心筆心  
 中後原法用之方治善法因以  
 以之相侵是又助之飲物之方

中後原法用之方

此中後原法用之方

此中後原法用之方

對馬守

此中後原法用之方

此中後原法用之方

此中後原法用之方

此中後原法用之方

南島

二月十八日 松平儀宣

今此財之法以風氣全法云因方  
 大之通而高而高上為法以風氣全  
 法

上後原法用之方

松平儀宣

此中後原法用之方

一 右の所は海に 城は 指城の所と  
泊りしに 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 中 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 西 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 右 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 中 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 對 右の所は 指城の所と 指城の所と

一 海に 指城の所と 指城の所と  
一 指城の所と 指城の所と 指城の所と  
一 指城の所と 指城の所と 指城の所と

一 東 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 西 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 中 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 對 右の所は 指城の所と 指城の所と

一 大 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 中 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 西 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 對 右の所は 指城の所と 指城の所と

一 大 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 中 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 西 右の所は 指城の所と 指城の所と  
一 對 右の所は 指城の所と 指城の所と

御機嫌候ニ時不有也  
還仰候

右ノ外 殿中宣成等御成候事  
相切り申上候事候旨候事御成候旨  
相切り申上候事候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨

今日在御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨

一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
一 御成候旨候事御成候旨候事御成候旨

二月十日  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨  
御成候旨候事御成候旨候事御成候旨

淨土宗開元元年三月廿三日  
五箇日

出清卷

張密寺

神

龍德寺

福

大中寺

通別

不眩齋

里別

學校

日記  
石谷柳之右同今日廣有慶為延會

居隈殿下年作為淨振宗法  
法振法在常多交復慶及慶  
布外 殿淨宿夜不事以此

今日尾廣殿下相伴於於慶慶  
各府之在淨宿夜不事以此

廣慶法衣 相年法也  
本居行行一書好中亦志願  
長生法衣一追乃長生一也

二月廿九日

二月廿四日

德田松竹寺

右一人所到之始也

井上河内寺

口通神古力  
口通神古力  
口通神古力

秋之任得寺

梅田大寺

仙石藏本寺

福新

安慶村馬寺

中使乞

坂野寺

如人夫福不

井仔寺

星梅

松平重番院

口通神古力  
口通神古力



三浦

木合母後

右八人行列不在其

望

二月十九日

松平能光

物

二月廿一日

松田相模守

今輯上野

大猷院振有徳院振

冲靈前

冲在代松平因防之清

松平肥後守

松平陸奥守

松平中總守

右乃何法持原也

故於例亦止先中以其

久保 冲定  
山崎 冲定  
川崎 冲定

右長左衛門

云系 松平

右 伴信之方於美奈守國定守

列位守有海守度

松平能光

右後列各法

冲官 正通官之官後地之官也

下波用云方於何席列位同前

同人中度

右外 原守宿願之官遠守

右青市守宿願之官宿願之官

右一程守宿願之官宿願之官

右二程守宿願之官宿願之官

右三程守宿願之官宿願之官

右四程守宿願之官宿願之官

右五程守宿願之官宿願之官

右六程守宿願之官宿願之官

右七程守宿願之官宿願之官

右八程守宿願之官宿願之官

此

大御所様上申状

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

一 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

唯大御所様上申状 申上候事 御座候事

大御所様上申状

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

水戸殿 御座候事 申上候事

二月廿日 安房守 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

御事 御座候事 申上候事 御座候事 申上候事

中用自之派其方乃其流其  
面危而者相撲之進其後之  
既痛活抑之氣可其動之全其  
危角不相傷極動之危其苦其  
體之危其後之流其法用日  
其氣之危其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危

此本故在邊洋其方乃其流其  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危

此本故在邊洋其方乃其流其  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危

二月八日 在田後

今中其時之  
大綱其極其度固而其極其為  
入進其也  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危

三月廿三日

今中其時之  
大綱其極其度固而其極其為  
入進其也  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危  
其能其動其及上其能其示其危

二月五日 社元坊洋寺

唯世目録書付之儀掃部坊書

天竺院極 御書示亦在在

御書示 方太極寺別御書示

石介 殿中宿候方少寺御書示

御書示 御書示 御書示

御書示 御書示 御書示

御書示 御書示 御書示

一 東長別 相續書付之儀

一 明日坊 寺書

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

一 御書示 寺在御書示

二月廿七日 大目付

二月廿七日 井伊直頼

今本寺内之坊上寺

市重公 市重前

天英院板 市重前上云

市重清市重福任市重之云

市重前

市重前在列席行云波

市重前云

市重前云云云云云云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云云云

市重前云



西尾南書其上坊寺

伊集院 伊集院

大御名振紅雲山

伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣 伊集院南家惣

西尾南書其上坊寺

進

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

一 伊集院南家惣 伊集院南家惣

伊集院南家惣

今日何之

大御名振紅雲山

伊集院南家惣

送御帳

上度田平周防守

尾張中納言殿

右内書上度田平周防守

沙由良子公 作由良子公

信之

上度田平右衛門

二柱一命

尾張中納言殿

日田人

信通千史  
三柱二命

德川播磨守殿

日田人

二柱一命

好春守方

右内書上度田平周防守

尾張中納言殿

德川播磨守殿

右内書

故内書上度田平周防守

沙由良子

沙由良子

尾張中納言殿

沙由良子

尾張中納言殿

日田人

三柱二命

德川播磨守殿

右

公方孫 大納言孫

中納言殿

沙由良子

尾張中納言殿

德川播磨守殿

右内書上度田平周防守

沙由良子

信通千史

尾張中納言殿

德川播磨守殿

信通千史

日田人

尾張中納言殿

德川播磨守殿

神皇正統記  
卷之五十五

尾張國

一 在尾張國... 中將... 尾張國中將... 尾張國中將...

松平... 松平...

一 在尾張國... 通... 尾張國... 尾張國...

紀伊國

水野...

水野...

寬助...

一 在尾張國... 尾張國... 尾張國... 尾張國...

西園...

梅津...

尾川...

一 在尾張國... 尾張國... 尾張國... 尾張國...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

尾川...

pa

上原田守

日克准作

右此法序寺主事 未月替下在

市野類合云 任事云々

右ノ不 解守宿候申出云々

退云

尾澤守辰修致

珍事云々七角

右市守事 日原歌部局 同酒井守辰

云々云々

中將殿格申云々候事云々候事 補品申云々候事

致書用云々候事 申將殿格申云々候事 申云々候事

下書云々云々候事 申云々候事 申云々候事

云々云々

此等個人只取 通事控事 同人云々候事

此伊殿云々候事 申云々候事 申云々候事

云々云々

只此方云々 申云々候事 申云々候事

一 奉付事云々候事 申云々候事

二月廿五日 戸田周清

今朝上野

至心院掃 申云々

申云々 田原云々候事 申云々

今書致 町久保守辰

右後列云々

申云々 申云々 申云々 申云々

申云々 申云々 申云々 申云々

申云々 申云々 申云々 申云々

申云々 申云々 申云々 申云々

申云々 申云々 申云々 申云々

申云々

申云々

申云々

右於柳( )同日( )奉書( )

右( )

右( )

二月( )日 如田相( )

尾張中( )

右( )

右( )

右( )

右( )

酒( )

右( )

右( )

右( )

右( )

右( )

右( )

右( )

右( )

右( )



ノ御札ニテ是等南無能ク今ノ秋  
迄勤王ノ御事ハ御筆ノ及ビ侍  
御筆ノ同様に御筆ノ及ビ侍  
御筆ノ同様に御筆ノ及ビ侍  
御筆ノ同様に御筆ノ及ビ侍  
御筆ノ同様に御筆ノ及ビ侍  
御筆ノ同様に御筆ノ及ビ侍

一 御札ニテ是等南無能ク今ノ秋  
迄勤王ノ御事ハ御筆ノ及ビ侍

二月廿八日 秋元播磨守

今奉付上

大納言権後内膳権左衛門

入退治ノ御事

送御ノ御事

一 公方権 大納言権内膳

常月次ノ御事

御白書院

皆同ノ御事

伊波三郎

毛利甲斐守

千部一名

柳原頼宗

千部一名

田原経吉

千部一名

千部一名

田原経吉

千部一名

千部一名

小川封馬守

千部一名

松平不詳守

千部一名

松平不詳守

千部一名

千部一名

松平不詳守

御白書院

御白書院

御白書院

御白書院

御白書院

御白書院

御白書院

全之役了  
野一久頼母  
古能孫書史

沙次二回

- 一 為南... 遠國寺社
- 一 於大層... 野一久頼母
- 一 於平下... 古能孫書史
- 一 野一久頼母... 遠國寺社
- 一 於大層... 野一久頼母
- 一 於平下... 古能孫書史
- 一 野一久頼母... 遠國寺社
- 一 於大層... 野一久頼母
- 一 於平下... 古能孫書史

二月廿八日

今夜... 野一久頼母  
 今夜... 遠國寺社  
 今夜... 古能孫書史

二月廿九日

- 一 昨夜... 野一久頼母
- 一 昨夜... 遠國寺社
- 一 昨夜... 古能孫書史

此相傳河橋煥於扁小同人等

三木王水西

性堅美

次 酒升之

石名乃

石額之通之石即煥年表也

作分(自柱)其字(同)其字(同)其字(同)

同人(同)

尾澤初

棟井丹波

石名傳後

官(寺)其字(同)其字(同)其字(同)

上(復)云(寺)其字

時(石)其字

日(光)其字

在(石)其字(同)其字(同)其字(同)

古(石)其字(同)其字(同)其字(同)

此(石)

石名

清(石)其字

大(石)其字

在(石)其字(同)其字(同)其字(同)

清(石)其字(同)其字(同)其字(同)

リ(石)

此(石)其字(同)其字(同)其字(同)

同(石)其字(同)其字(同)其字(同)

西(石)其字(同)其字(同)其字(同)

少(石)其字(同)其字(同)其字(同)

石名

石名

石名

今(石)其字

清(石)其字

石(石)其字(同)其字(同)其字(同)

右(石)其字(同)其字(同)其字(同)

左(石)其字(同)其字(同)其字(同)

此(石)其字(同)其字(同)其字(同)

日之久成 冲境

冲境裁示日之准后

冲境裁示日之准后 此札之由

冲境裁示日之准后 此札之由 尚書

冲境裁示日之准后 此札之由 尚書

冲境裁示日之准后 此札之由 尚書

冲境裁示日之准后 此札之由 尚書

冲境裁示日之准后 此札之由 尚書

此中

此中

此中

此中

此中

此中

此中

此中

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

大目付下

願ふに大元寺入奉り付  
且又皇教は昔嘗てとむと  
云々の言はれ候に候に候に  
此の如き言はれ候に候に  
早し未だ相違なき人々  
爲るに相違なき人々  
通達なき人々  
梅多なき人々  
右の如き言はれ候に候に  
且又皇教は昔嘗てとむと  
云々の言はれ候に候に  
此の如き言はれ候に候に  
早し未だ相違なき人々  
爲るに相違なき人々  
通達なき人々  
梅多なき人々  
右の如き言はれ候に候に

公等親愛者もはやく  
りしに候に候に候に  
且又皇教は昔嘗てとむと  
云々の言はれ候に候に  
此の如き言はれ候に候に  
早し未だ相違なき人々  
爲るに相違なき人々  
通達なき人々  
梅多なき人々  
右の如き言はれ候に候に  
且又皇教は昔嘗てとむと  
云々の言はれ候に候に  
此の如き言はれ候に候に  
早し未だ相違なき人々  
爲るに相違なき人々  
通達なき人々  
梅多なき人々  
右の如き言はれ候に候に

右の通り相解人



Handwritten text in cursive style, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the angle of the page.

二月用番

Handwritten text in cursive style, organized into vertical columns. The text is mostly illegible due to fading and the angle of the page.

二月朔日 尚書 松平左近將監

今日仰白書院

公方孫 大細言孫 仰白

出仰 沙境

仰原戴目光准原

仰對款正外書院之沙孔例年

之通古傳 仰白 仰白 仰白 仰白

五言下

一 今 仰白

大細言孫長 西折指以為

入 仰白 仰白

還仰白

仰白

云波大腰更

仰白

右澤下野書

在死海府於 仰白

仰白

一 若何 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

中 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

一 在 仰白 仰白 仰白 仰白 仰白

二月二日 松平左近將監

仰白

仰白

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

白... 中...  
白... 中...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

二月三日  
乙... 庚...  
乙... 庚...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

在... 列... 院...  
在... 列... 院...  
在... 列... 院...

全少叙  
大田清助  
長谷川全馬

右指在義行、海沙、及

清免、年、長、以上、他、相、知、為、以、獲

與、之、中、有、於、是、在、年、於、在、海、取

引、能、回、分、向、人、之、信、度、每、為、錄、之

若、年、身、在、仍、元

甲斐守武物  
江守門之節

右信、列、之、身、并、殺、水、因、於、誘、主、再、性

力、保、味、是、是、身、有、之、り、之、分、却、自、席

以、目、人、之、信、度、洋、信、因、在、取、水、所

出、得、之、得、元、本、亦、能、之、身、再、連、也、以、

時、後、二  
花、光、坊

右、能、稱、之、間、以、向、人、之、信、度、洋、信、為

之、義、

右、亦、一、取、中、有、成、也、水、大、神、年、身

能、亦、書、留、人、之、日、中、之、相、知、り、也、以、

一、大、能、之、列、也、道、之、身、之、更、之、之、也

一、時、亦、信、度、之、及、他、道、也、亦、知、之、也

二月十八日、秋、末、之、之、日、諸、家

各、所、在、右、亦、日、能、之、時、分、以、時、之

各、所、在、使、之、之、身、之、事、也、以、

松、平、信、也、之、在  
坂、田、相、換、之、在  
町、能、後、中、之、在  
牧、師、能、後、中、之、在  
戶、田、因、信、之、在

松平信隆  
井上内膳  
松平元徳  
仙石誠重  
吉田清成  
安藤昌景  
牧野忠成  
井伊直政  
松平重信  
米倉重康  
牧野忠成

二月四日 南吉 井伊直政

尾張初代

田原重成

在將及三河守女尾張守長女  
此有信長外孫也 經年以來

下中上各遊歷天下 同江蘇中列此  
信長及長子信俊

以解

玉院

田原重成

時後二

信長

小川對馬守

右新藤之間向人 公任信長書後  
洋紙初在載

長龍

水上

右長治表為信長用 並其弟  
以遊湯 乃在遊湯中 復有信  
乃載 水乃信長信長書後  
乃連

右介 信長書後 乃信長書

信長書後 乃信長書 乃信長書

此



分下

在東大寺... 酒升... 引水... 已... 力...

二月五日

仙石親重

尾張中納言

尾張中將

存少額... 作...

改...

四...

云...

坂...

在...

以...

洋...

書...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

為佛佛法者之次之於寺之也

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

二月六日 松平吉良

右邊修繕等事相違ふ事多し  
寺内之修繕等事相違ふ事多し  
寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

寺内之修繕等事相違ふ事多し

寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

一 寺内之修繕等事相違ふ事多し

二月

寺内之修繕等事相違ふ事多し

二月七日 安房對馬

水尾義隆

保正

升上侍

内殿

香西

佐野

吉野

津守

中根

名目

依中

石川

三身

岩内

山田

多田

北

左国

主務

初及

信

湯田

長谷川

日根

河内

在人所書中多後路

但人教外本有之

任其

正右

山根

吉野

吉野

在

本

時值二

廣澤氏の在り

時後三

山口興

常智院

口以

日 皇山

華藏院

人之在

日 久住山

徳音院

時後二

日 三列風

松高院

在社同席同人正位廣澤氏内  
在敷之

右之介 學智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候

雅智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候  
高智院中出御候

高智院中出御候

二月七日

高智院中出御候

高智院中出御候

高智院中出御候

高智院中出御候

高智院中出御候

高智院中出御候

高智院中出御候

右取  
市部

作

後松平左衛門尉

日光准后

在沙額之通名實寺良文

作此書身人今朝

右在沙額之通名實寺良文

作此書身人今朝

松平丹波守

建延四年

在名也 長去年

之印較多燒失

思在名也

同名人

右不

相和

何

進

在名也

二月九日

右取封馬

今

大

入

送

右

進

今

作

明

之

公

二



二月十日

向書 戶田國清

松平肥後守

松平源次守

松平小治守

右方信持様也

城跡御席 伊中守也

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

西川重之丞

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

伊中守

一 市上... 後... 下

二月十日 井上河内守

田原守  
池田守

石... 通... 免... 列... 市... 也

一 市... 以... 市...

一 見... 市...

二月十日 秋九攝津守

今... 市... 市...

市... 市... 市...

一 市... 市... 市...

石介 辱中 宿候 奉命 事 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
別紙

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
津使先

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
津使先 一人

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
二月十日 牧野遠江守

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
表 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
山崎 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
石介 辱中 宿候 奉命 事 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
中 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
上 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
日 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
宗 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
尾 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
津 〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
〆 〆 〆

一 奉命 宿候 奉命 事 〆 〆  
〆 〆 〆

二月十日 堀田相模守

一 堀田相模守より法橋三不法師に宛てて  
其の法書法儀を相模守に送りて之を  
御布衣と結合せしめ且又此の書  
御月名に送り候事  
一 堀田相模守より法橋三不法師に宛てて  
其の法書法儀を相模守に送りて之を  
御布衣と結合せしめ且又此の書  
御月名に送り候事

一 堀田相模守より法橋三不法師に宛てて  
其の法書法儀を相模守に送りて之を  
御布衣と結合せしめ且又此の書  
御月名に送り候事  
一 堀田相模守より法橋三不法師に宛てて  
其の法書法儀を相模守に送りて之を  
御布衣と結合せしめ且又此の書  
御月名に送り候事

堀田相模守

公方様 西飛上は  
御沙道に御座る御格好  
御座りて御座る御格好  
御座りて御座る御格好

- 一 御座る御格好
- 一 御座る御格好
- 一 御座る御格好
- 一 御座る御格好
- 一 御座る御格好

二月十日  
堀田相模守  
御座る御格好  
御座る御格好  
御座る御格好  
御座る御格好

二月廿八日 仙石御書

今日

大納言藤原公為

入

一 皇太后上御月次通口乳母藤原氏  
御前御座在右幸御階上同大納言於  
右席一同御沙乳母公為

一 御門上在二日御禮公為  
清日御禮御前公為席上御座及  
御座

一月廿八日御禮公為  
御白書院

主印

人冬六介  
虎皮之取  
翁皮之取  
全馬代

宗對馬守

松平肥前守

松平大和守

松浦左衛門

大村信清

一 任江戶殿公為藤原公為藤原公為

一 松平大和守松浦左衛門大村信清

一 御禮御座在右幸御階上同大納言於  
右席一同御沙乳母公為

御座

右一介 藤原智藏公為

出



- 一 日紀分... 寺内... 寺内...
- 一 西原... 寺内... 寺内...

二月十六日 招平徳記

今更...  
大綱...  
入九...  
運...

田沼大...  
右... 寺内... 寺内...

野... 野... 野...  
里村昌...  
里村昌...  
里村昌...  
里村昌...

湖川昌...  
坂昌...  
阪...  
坂...  
坂...

日輪寺

菅原...

大庭永尚  
昌...  
昌...

山田...

昌...  
昌...  
昌...

右が...  
者、介、聲、福、...

...  
大、...  
...

一  
...  
...

二月七日  
牧野...

今朝...

...  
田沼...

...  
...

一  
...  
...

...  
...

...  
...

二月十七日  
...

二月廿日

牧野造

右の通りは、  
田原大木等  
は、  
田原大木等

田原大木等

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

此

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

二月廿日

田原大木等

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

此

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

二月廿日

田原大木等

今般上野

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

右の家は、  
田原大木等  
田原大木等

田原大木等

田原大木等

田原大木等

右

田原大木等

田原大木等

田原大木等

田原大木等

田原大木等

田原大木等



出告

一 今日迄る者以之備後之松尾藩に於て  
 以て河内守に於て  
 一 此ノ松尾藩に於て通事に於て  
 松尾藩に於て  
 一 松尾藩に於て  
 一 松尾藩に於て  
 一 松尾藩に於て

二月廿二日

松平肥後守  
 松平徳政守

松平小徳守

右方河内守松尾藩  
 松尾藩に於て

法川

夷山守

右方河内守松尾藩  
 松尾藩に於て

人見

松平夜守

右方河内守松尾藩  
 松尾藩に於て

右方河内守松尾藩  
 松尾藩に於て

人見

右方河内守松尾藩  
 松尾藩に於て



右ノ外 原中宿候之由備後守  
向書 一、海軍今以後之行動  
必要宿候不相調物及因書及助  
以之候中 轉々用之 難々助  
以之候中 轉々用之 難々助  
而此向書 付之候中 轉々用之  
物之由之助書相調物之由之

二月廿二日 杉本徳也

今日 原中宿候之由備後守  
向書 一、海軍今以後之行動  
必要宿候不相調物及因書及助  
以之候中 轉々用之 難々助  
而此向書 付之候中 轉々用之  
物之由之助書相調物之由之

二月廿一日 杉田市介  
長谷川利南  
山桂之助  
在江 候中 候中 候中 候中  
加瀬遠江守 向書  
九条守 向書 向書 向書

二月廿一日 戸田因幡守

町後二 小知三左馬  
在江 候中 候中 候中 候中  
加瀬遠江守 向書  
九条守 向書 向書 向書

此

一 王殿後後... 府浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

二月廿五日 井上河内守

少... 日... 依久回吉彦

一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

對列...

唯日上...

一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

二月廿五日 井上河内守

一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...  
一 府... 浦... 因... 定... 修... 後...

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

二月五日

市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所

市原所 市原所 市原所

市原所 市原所 市原所

一 奉付之儀候事候様迄申上候事

二月廿八日 堀田相模守

今般務上事

去冬度候様 申上事

申上候内候事候様迄申上事

今般務上事

大御方様申上候事候様迄申上事

候事

入奉付候事

御用候

御用候 御用候候様迄申上事

御用候

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

此

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

二月廿九日 松平左衛門

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

御用候候様迄申上事候様迄申上事

在松本藩初了通事役

清見... 右... 後...

一 昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

此

昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

昭和... 昭和... 昭和...

二月十四日

松本藩主

松平... 松平...

松平... 松平...

松平... 松平...

松平... 松平...

松平... 松平...

松平... 松平...

松平... 松平...

昭和一...  
昭和一...



二月朔日

吉書

松平健忠吉

今書付之

大綱書後西松橋迄

入京時亦也

還京候

一 公方様 大綱書後申一同

御用書以上御用書通沙後

在御用書元御用書御用書間

大御下於御用書一同御用書

入御用書一同御用書

御用書御用書御用書御用書

御用書

一月次御用書

御用書院

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

一書

一未一不

信  
田原信房

日

三列風巻志志三三  
腎王院

日

日  
麟祥院

日

日  
信平十藏

一未一不

日  
信平院

日

日  
寶源院

日

日  
靈運院

日

日  
蓮華院

一未一不

日  
教学院

日

日  
常任光院

一未一不

日  
酒井典膳

日

日  
因

日

日  
二人

日

日  
腹

日  
治十及  
元

日  
西組  
預

日  
治十及  
元

日  
和文侯  
治

日  
治十及  
元

日  
大原  
治

信

少次二回

後有同身序  
白坂友十郎

遠國神社

久松重吉

小澤勝徳

同 菅正

大廣間

町南尾  
如八人

山細戸様

友組太吉

同 廿九

紅白編主  
色純子十夫

御筆大繪

日 日

日 三揮射

日 三揮射

日 三揮射

日 三揮射

日 三揮射

日 三揮射

命之良 法通

中里書院

強引之然山  
御宮通具替方  
山用仕巨匠

海軍省

一 後代江敏善之優之於遊場之間

右弟方及及及

一 後尾張殿松平相繼之助相繼之序

一 以上皆乃法札之序之優之於國席

一 同人公案

四版

全地院

一 在於古白書院之海歌法卷中列

一 本山由世之止在在在在在

一 本山由世之止在在在在在

一 本山由世之止在在在在在

一 本山由世之止在在在在在

右御筆... 友澤... 右御筆... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤...  
 右御筆... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤...  
 右御筆... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤...  
 右御筆... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤... 友澤...

皇太后  
 同日付  
 二月一日

二月一日

山口修理色

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

二月二日

友澤...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右御筆...

右奉安及江中在江向人屯  
概一判限水及江向人屯  
江中在江

唯後日不氣元  
即對於江表向江中在江  
在江中在江

右奉介 奉中者使中使遠江及  
他諸番皆如之相勅一且今日是  
即後日中在江奉安及江中  
以後河内之代令中在江

皆 西在江中使遠江及  
在江中及江中在江 中在江中在江  
中在江中在江

右奉介 奉中者使中使遠江及  
他諸番皆如之相勅一且今日是  
即後日中在江奉安及江中  
以後河内之代令中在江

二月二日 井上河内守

中機總領寺河内守  
運河作

右奉介 奉中者使中使遠江及  
他諸番皆如之相勅一且今日是  
即後日中在江奉安及江中  
以後河内之代令中在江

運河作  
中機總領寺河内守  
運河作

右奉介 奉中者使中使遠江及  
他諸番皆如之相勅一且今日是  
即後日中在江奉安及江中  
以後河内之代令中在江



二月二日 南書 牧師録事

今午奉付之

大御堂御使西指橋迄為

入沙白里吉院大座百中一回

出沙上已、沙紙條有尾好相傳

退却、吉道

還御、沙河法言在

口念已上例年、通世礼、法儀代礼

和礼大念控大座百一回沙礼言

在

今沙以右一回沙終迄為

法儀代礼沙礼言在沙河席大座吉友

法儀代

法儀代禮吉友在沙河席、同席合吉

法儀代禮吉友在沙河席、同席合吉

同席同席合吉

一 昨日公記

中封初禮吉友在沙河席、同席合吉

吉友在沙河席、同席合吉

法儀代禮吉友

一 昨日同席 撤之別儀

吉友在沙河席、同席合吉

一 今日

初儀 院使物、吉友為

上座松平、在吉友、吉友、吉友

撤之別儀、吉友

吉友、在吉友、吉友

此

一 大座吉友、吉友

吉友、吉友

吉友、吉友

吉友、吉友

吉友、吉友

一 吉友、吉友

二月四日 壬辰丹波

今中野内前

大相公御座西指橋為

入中野内之庄

置所也

一 今中野内之

公方御座 大相公御座清白寺院

出所公家元

中野内前尾好古御座公家元

書之字也此多相也

上使大臣中野

勅使

同日人

院使

在御座書之字也

一 中野内前尾好古御座公家元

尾張中將殿公家元度之紀伊殿

使公家元度之紀伊殿

公家元

一 紀伊中將殿公家元度之紀伊殿

使公家元度之紀伊殿

上使大臣中野

勅使

同日人

院使

在御座書之字也

尾張中將殿

公家元

上使大臣中野

尾張中將殿

上使大臣中野

中野中將殿

上使大臣中野

尾張中將殿

在御座書之字也

作有はる下は日人物方々

作有

一 法徳代元差振張明見法徳人爲

一 法 作有はる下は日人物方々

一 列有右系系下下下

一 唯日法徳之々々表向中中中中

一 新天徳列中中中

一 昨日右系系中中 故列中中中

一 本付中中中中中中

一 布介 殿中中中中中中

中中

一 昨日法徳代元差振張明見法徳人爲

一 法徳代元差振張明見法徳人爲

一 水戸殿下法徳中中中中中中

一 昨日法徳代元差振張明見法徳人爲

一 法中及中中中中中中中中中中

一 不中中中中中中中中中中中中

一 多中中中中中中中中中中中中

一 昨日有はる下は日人物方々

一 右系系系系系系系系系系系系

一 右系系系系系系系系系系系系

一 昨日有はる下は日人物方々

一 右系系系系系系系系系系系系

一 列有

法白書院

法白書院

中良橋書院

六角館書院

法白書院

安之原書院

本升書院

法白書院

法白書院

法白書院

法白書院

法白書院

中酌

中加

竹之間湯屋席草

杉由本御書  
芳和君様御書

其腹古殿儀

杉平玄蕃次

二月三日

南書

杉平玄蕃次

今五更時辰

大細之極後為格橋為

入寺一回

御所沙汰之儀也

還御也

一 今日公家元也地也所候儀候

一 御所於席下也定儀有也

一 儀候御所儀候度儀候於御所

一 儀候御所儀候度儀候

一 儀候御所儀候度儀候

一 於席下同人達也

一 明後七日 御所儀候

一 御所儀候

一 御所儀候

此

一 大御所別儀候儀候

此

一 今日御所儀候

一 御所儀候

一 御所儀候

御所

右目付

杉平御書

杉平御書

御書

御書

三月六日 吉野村長

吉野村長

時辰之

石川源太郎

吉野村長

右記の如き義状は通達後  
沙免年表等と先相動員を以て  
並に各社に於て先相動員を以て  
列記右記の如き義状は通達後  
以後忘替等と先相動員を以て

阿國院

時辰之

加八人

大御之儀

同 人

右記の如き義状は通達後  
沙免年表等と先相動員を以て  
並に各社に於て先相動員を以て  
列記右記の如き義状は通達後  
以後忘替等と先相動員を以て

大通河

時辰之

吉野村長

右記の如き義状は通達後  
沙免年表等と先相動員を以て  
並に各社に於て先相動員を以て  
列記右記の如き義状は通達後  
以後忘替等と先相動員を以て



三月七日 与吉 去波更渡号

今午奉付

大納言御返西指指及為

入口付之と在

還奉付

一 口付和

公方御 大納言御沖白書院

御沖 沖返言首尾相済申上候

御式書上字進上申上候

浪二百段

浪二百段

浪二百段

御出度大納言

因以

久我大納言

浪百段

浪百段

浪百段

御出度大納言

右様御返御沖白書院御返申上候中  
貴渡言及御返申上候

御出度大納言

浪十段

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

浪

御出度大納言

日( ) 池田屋大細書巻

日( ) 二宅書巻

日( ) 三宅書巻

日( ) 表河内書

日( ) 吉田書巻

日( ) 三宅書巻

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

日( ) 山井後中

在深原内於柳( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

在通( ) 日( ) 山井後中

牧師 松平 徳次郎  
戸田 國清  
松平 信康  
井上 河内  
松平 信康  
仙石 徳重  
右田 徳重  
安房 徳重  
牧師 遠江  
井上 徳重  
松平 信康  
松平 信康  
松平 信康

松平 信康 土色

二月八日

牧師 遠江

弟三回

海月

松平 信康  
松平 信康

大津 徳三郎

青島 徳重  
十位 徳重

出井 平助

松平 信康  
松平 信康

松田 平助

松平 信康  
松平 信康

松平 信康

松平 信康  
松平 信康

松平 信康

松平 信康  
松平 信康

松平 信康

松平 信康

松平 信康

松平 信康

日人志能  
友十郎老字  
久下右眼

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

昨之二  
日三  
八幡  
田屋定信  
法光寺

今日之板  
昨之二  
日  
六日  
六日

呼彼又  
在松林之同在東夏法華宗物  
乃義

六角般若寺  
大友寺

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

六角般若寺  
大友寺

六角般若寺

六角般若寺

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

右云 伴月之旨法華宗別號在東夏  
尸殿之在年方九十九

西野助美之次郎

此方

今日久松大洞主市傍幸々々之由治舟  
揚上幸々々之由治舟礼承直如圖一面  
退初之幸々々之由治舟  
左所之幸々々之由治舟

二月廿日 井上河内守

南吉

以服

三幸々々之由治舟

河内大洞主

此方之二

右所稱之由治舟又由治舟相後  
有由治舟

由後三之

純淨中勿之由治舟

宋之由治舟

由治舟

由治舟

右所稱之由治舟又由治舟相後  
有由治舟

由治舟

由治舟

右所稱之由治舟又由治舟相後  
有由治舟

此方

今日久松大洞主市傍幸々々之由治舟  
揚上幸々々之由治舟礼承直如圖一面  
退初之幸々々之由治舟  
左所之幸々々之由治舟

二月廿日 秋九坊傳書

南吉

西野助美之次郎



行商往來

一尾張中將殿本髮之批并以尾張中將殿内記

御於 沙摩之間 中將殿本髮之批并以尾張中將殿内記

在不在 摩留殿之批并

一深秋陣中幸社之形元法用有御

一人正記

三月十一日 井伊三郎補

今更中將之

大御本御法向指極為

入府之形

夜振全在傳

二行一云 尾張中將殿

一様一云 尾張中將殿

同日 尾張中將殿

右中將殿本髮之批并

中將殿内記 尾張中將殿

右中將殿本髮之批并

云云并 大御本御

御於 尾張中將殿

一御於本髮之批并尾張中將殿内記

御前白書院西宮御放沙在申共息  
行日

一 長中將殿御奉替先皇御批之種一高  
臣在法殿好若所方在御同所程  
高元元後高多高下之龍船向  
右高多入高多入

一 吉野同所  
高元元 吉野同所  
上度好若所方在御同所程  
且高元元

一 沙部登柳沙程御同所之中將殿  
好若所方在御同所程  
臣在法殿好若所方在御同所程  
且高元元

一 在御同所  
御前白書院西宮御放沙在申共息  
且高元元

在介 殿中宿候高元元

一 大久保加賀守高元元御批之高元元  
一 高元元高元元高元元  
且高元元  
今日高元元高元元  
且高元元  
高元元高元元高元元

二月五日 坂田相換高元元

今朝増上寺

御書高元元  
御前白書院西宮御放沙在申共息

高元元  
高元元  
高元元  
高元元

毛利田斐吉  
毛利和泉守

右分宛  
勅使院使宛後迄之儀、茲布  
遣、同日、若中、此書

指使署宛

花束御書宛

三橋小吉宛  
指使願書宛

右、  
一、  
唯、  
一、

唯、  
一、  
唯、  
一、

右、  
一、  
唯、  
一、

一、  
唯、  
一、

三月十二日  
南番  
仙石誠重書

今、  
一、  
唯、  
一、

紀伊中納言殿

右、  
一、  
唯、  
一、

中、  
一、  
唯、  
一、

上、  
一、  
唯、  
一、

在、  
一、  
唯、  
一、

御... 申上...  
... 申上...  
... 申上...

二月十日 松平健電書

申候様... 申上...

運上作

一 紀伊殿... 申上...

上候... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

二月十日 松平健電書

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

... 申上...

昔所不備在古也

一 近日之准依中堂法儀儀出未

正廷官相傳身法札亦法儀空

昆布一箱以法儀院法儀空

燒少一官同人等

一 明中自月次之法札

法多府法札

右京守及法儀院

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札

法多府法札



尾張中納言殿  
水戸宰相殿  
尾張中納言殿  
右紀伊殿松平少礼法意  
築

沖野顔

松平左近将監  
松平左衛門次

右松平  
冲日見

冲日見書院

紀伊殿松平

御遠平宅  
浪馬代

加納少将  
御

山崎左衛門  
御

浪馬代

平井助左衛門  
御

日

深谷用左衛門  
御

日

大橋左衛門  
御

日

河川左衛門  
御

日

幸徳市兵衛  
御

一 尾張殿紀伊殿水戸殿尾張中納言殿  
以禮之出度廣徳寺皇書院而一内海家  
法者中一法意同也

一 月次(沙)礼中付法紀伊松平納言殿  
法城所長殿松平右衛門左衛門  
右之介殿中宿願也此法意同也

一 能事者宿今日抄本相動中法意  
也

一 今是礼(日)西年(年)年有右等又公同所  
五部(日)早(日)定(日)也(日)

列法(日)

此書者  
本國所  
口目所

二月廿

中札書

紀後教書

山崎元吉

在荒病札之返書

一 日元方... 去年十月二十一日

一 在府亦方... 延文元年

二月廿六日 秋元松澤

御書

在府亦方

宗村馬了

張子方  
編編子方

在荒病札之返書

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

在府亦方... 延文元年

二月廿七日 坂田相模守

今分解江葉山

印官

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

右記

中国中九所

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

印官 坂田相模守

以百平、今、同、物、等、換、入、監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、  
 監、掌、之、人、

正  
 大  
 大

正  
 大

二月十八日  
 正

正  
 大

二月十九日  
 正  
 大

入市一回  
出市沙礼之巻  
還市假

市所之間

市帳

市所三帳  
市馬三帳

尾張津納殿

石於

市所最進

尾張殿

市所於以市所行之間沙食食  
有之文令

市所於以市所行之間沙食食  
市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市帳

市所於以市所行之間沙食食

市帳

市所於以市所行之間沙食食

特拔字

市所於以市所行之間沙食食

市帳

△元  
市所於以市所行之間沙食食  
市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食

市所於以市所行之間沙食食



伊波三三

伊波三三

水野尚二

西尾宗一

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

日

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

日

伊波三三

日

伊波三三

日

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

伊波三三

全馬代

家督之礼

大御新之礼

一色八公市

牧野豊之助

御印因見

吉田徳文院

大橋雲八

日

紫田如成

永井信成

日

性取子

内山膳六郎

命之帝之通子

山吹間

家督

一同之礼

日

一同之礼

行墨書院

一編一石

一書

幸山寺

一 杉本山藏書存於行白書院

一 尾法殿就法帳

一 沙都金杖以 中使是為 卷乳

一 尾法殿就法帳 卷乳 卷乳

一 尾法殿就法帳 卷乳 卷乳

一 尾法殿就法帳 卷乳 卷乳

活下段 時後十

度三書院

日之准后

在東殿山中堂山邊庭沙依書  
且山之上近官本原身之  
在介 殿中宿願之書也

一 今月禮札書之同代病家初少  
右第支及買買所原漢在書并之馬  
たし通りた

山寺書者  
大同月卜  
西月月

二月廿九日  
沙孔書角

水冲尚二節  
西尾家  
加友伊勢書  
初友性書

列傳書上  
山寺書者  
大同月  
西月月

二月廿九日

沙孔書角  
相馬書經師

在病家二月廿九日  
之書也

一名以之節  
牧師書之助

一 在病家初少月之書也  
一 在公常時節書之助家智之書也  
初少月以書名沙去力馬代英全十五  
抄之書之印家智一曰沙孔角病家  
初少月之書以書名沙去力馬代英全  
吉行書於律一曰書名在法在書初少  
尚人七尚人王臣  
一 尾法殿下在律書之書在書初少  
在江及之書初少書之書在書初少  
在初少

一 日終万々... 一 春月亦大...

二月八日 吉吉 井上河内守

今朝上野

有徳流振 冲雲亦

御名代松平右近将監...

松平肥後守

松平深後守

松平忠後守

右右河内... 松平忠後守

松平河内守...

右後目録後

此後...

堀内肉作

而此...

沼子頼母

在伊呂波院...

一 照其日...

右河内...

在介 殿...

此...

此河内...

吉吉

二月八日 吉吉 松平河内守

今...

右...

御...

右...

御...

右...

此...

一 目録...

一 故より其の...  
...  
...

二月廿一日 井上河内守

中務卿...  
...  
...

一 是等...  
...  
...

二月廿一日 右大臣

一 様一...  
...  
...

右大臣...  
...  
...



一 日光寺...  
一 寺内...  
一 寺内...  
一 寺内...

松平徳兵衛  
堀田相模守  
阿部徳中  
牧野徳中  
松平信康  
井上内膳  
林九郎  
松平徳重  
安房守  
牧野徳中  
井上内膳  
松平信康  
松平徳重  
松平信康  
松平徳重

二月廿一日  
高吉  
松平徳重

今日 松平徳重...  
松平徳重...  
松平徳重...

二月廿一日  
如希  
松平徳重

松平徳重  
高吉  
三浦口云云

松平徳重...  
松平徳重...  
松平徳重...  
松平徳重...  
松平徳重...  
松平徳重...

申候中々不仕用有し御取付  
此後同島及物同候御取付  
丹後及近上口中痛左中候御取付  
未候中々不仕用有し御取付  
此後同島及物同候御取付  
申候中々不仕用有し御取付

一 幸付前右島及物同候御取付

二月廿六日 杉平徳登号

幸付前

時後二 神保和泉号

右大奥中仕候御取付同相御取付  
右島及物同候御取付  
右島及物同候御取付

幸付前

杉平徳登号

此後

杉根守兵衛

作村惣兵衛

市面号

大塚号

右同以御取付同相御取付

右島及物同候御取付

右島及物同候御取付

日之取

杉根守兵衛

作村惣兵衛

右同以御取付同相御取付

右島及物同候御取付

右島及物同候御取付

幸付前

豊田友太郎

中島守兵衛

時村惣兵衛

右同以御取付同相御取付

右島及物同候御取付

日之取

若年分札付片

以七子

前田信隆

相田長兵衛

日

五教本部

三行

逸見八兵衛

石丸病亂社通沙改

御免と多行同席古事及及信隆

信隆同席

上原半圓防

松平忠行

信通二年去  
此一石改

石丸沙帳

古事及及信隆

波野長右衛門今日書札部中

此

山原長右衛門

浪之及

浪中全之節

日

全田三郎

相川新太郎

山中源三郎

日二様

石丸奥口降後法司相部有分り

於後方一石改及及信隆

古澤長兵衛

田所俊彦

佐野長兵衛

日三様

石丸以法用古部有分り

日人今一様

於後方一石改及及信隆

二月廿六日

山原長右衛門

今三様

五八院様 寺長様

御意代通并石丸今三様

市原之回

沙任者

榎田源次

宝徳川平七

信海守り  
三尾孫吉右衛門

比叻守源次

榎田源次

上野源次

宝徳川平七

百依源次

石丸

伊和

榎田源次

上野源次

石丸三條上野源次榎田源次

列位右方及左方榎田源次

榎田源次

榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

二月廿七日

榎田源次

榎田源次

榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

榎田源次

榎田源次榎田源次榎田源次

三月廿八日 南秀 牧師送歸

今由中野上

右側之極清川高夫而迎法沙駕  
宗子左為

入法文修上下為

成中

清川高夫於法沙席後

清川見公

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日

口元十七日



一 臣死に奉る綱を敬重するは、同様の事案は、  
此の如く、下の人々も、  
存す、  
長

一 綱に通じ、  
一 相も、  
一 相も、  
一 相も、

三月廿九日

相中書

時辰二  
在り、  
江守、  
江守、  
江守、

時辰二

江守

時辰二

江守

時辰二

仙居、  
川田、  
馬、  
三浦、  
川田、  
宮、  
麻田、  
寺、

石、  
沙、

一 控後、方在邊境、復原職、  
 惟期、厚澤、法終、不、法終、有、  
 此、法、法、法、法、法、法、法、法、  
 南、南、南、南、南、南、南、南、  
 且、且、且、且、且、且、且、且、  
 番、番、番、番、番、番、番、番、  
 西、西、西、西、西、西、西、西、  
 右、右、右、右、右、右、右、右、  
 進、進、進、進、進、進、進、進、

一 既、既、既、既、既、既、既、既、  
 法、法、法、法、法、法、法、法、  
 一、一、一、一、一、一、一、一、  
 一 松、松、松、松、松、松、松、松、  
 同、同、同、同、同、同、同、同、  
 一、一、一、一、一、一、一、一、  
 一 松、松、松、松、松、松、松、松、  
 本、本、本、本、本、本、本、本、

四月廿四日

- 松平圓房
- 酒井右衛門
- 左田備後守
- 松平右衛門
- 曲淵中將
- 安後守
- 左田掃部
- 村上守
- 大久保守

公事一、方  
沙指、方

公事一、方  
 沙指、方  
 公事一、方  
 沙指、方  
 公事一、方  
 沙指、方  
 公事一、方  
 沙指、方

月相日 与吉 松平重良

今午奉附之

大綱之概法由指松平為  
入返之

還附之

一 公方概 大綱之概法由指松平一回

柴川月次之

中興書院

法帳

汗馬之足

松平加賀守

清自書院

相馬吉治

相馬吉治

相馬吉治

相馬吉治

相馬吉治

相馬吉治

編通之

久世和泉守

二名之

二名之

一者之

大菅院

奏狀上

富野大倉

二人

編通之

大菅院

月次

松平大武

清自書院

右後目録

塔田内膳

石原重吉氏  
少佐  
沼田親母

沙次一岡

尾子

事上

本岡坊

日

日

長崎藩士

沖上下真

日

長崎藩士

沖上下真

長崎藩士

沖上下真

長崎藩士

沖上下真

長崎藩士

注納戸

事上

長崎藩士

沖上下真

長崎藩士

沖上下真

沖上下真

人三才

長崎藩士

長崎藩士

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

一 尾尾渡殿

尾尾渡殿

尾尾渡殿

尾尾渡殿

尾尾渡殿

尾尾渡殿

進言

一 加賀守之丞末吉様へ通一因在申上は  
国防及下は皆河原守忠安中達之也  
右様へ

一 杉平様へ申上は今日月次御社に想はれ  
申上は御社へは御社へは御社へは

一 日先方より寺奉行上より申上は  
御社へは御社へは御社へは

四月二日 米倉丹後守

一 主殿及び御社へは御社へは御社へは  
御社へは御社へは御社へは

一 右様へ 殿中御社へは御社へは  
御社へは御社へは御社へは

一 寺奉行と国防及御社へは御社へは  
御社へは御社へは御社へは

別紙

因信守殿御社へは御社へは

寺奉行御社へは

富実様へ御社へは御社へは

福門福実様へ御社へは御社へは

右様御社へは御社へは御社へは

地民御社へは御社へは御社へは

右様御社へは御社へは御社へは

二月

四月二日 米倉丹後守

日先方より寺奉行上より申上は  
御社へは御社へは御社へは



右記 作付 各款 奉旨 同法 奉旨  
列在 國防 及 兵 隊 等  
右記 外 殿 中 智 儀 等 奉 旨

一日光廿日

沖 在 代 檢 査 方 檢 査 奉 旨 代 檢 査 奉 旨  
任 行 奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

二月廿日 井上 河内

今日 殿 中 智 儀 等 奉 旨

此

- 一 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨
- 一 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨
- 一 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨
- 一 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨
- 一 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

改 訂 奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

二月廿日 右田 德 儀

市 倉 奉 旨

法 務 省

奉 旨

服 務 勸 導 奉 旨

此 記

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

日 奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

奉 旨 附 之 國 防 及 兵 隊 等 奉 旨

右様  
伊勢

後次

土庫本系之物  
戸田之帳

右様病及初之通旨及  
御免之旨は早に申上り候所候中  
到立因防及之 伊勢に在り候元  
侍所

右様外 伊勢宿候に申上之  
此方

善賢評

兼 守 益

右様先准取込之旨に申上り候  
事は之に於て早に御座候所候  
御井有見及之旨に申上之

毎々之旨

永井平兵衛

年

若田左平

右様先准取込之旨に御座候  
御免事は之に相違有之旨に御座候  
事は之に於て早に御座候所候  
御井有見及之旨に申上之  
御付之因防及初之通旨に御座候

四月二十日 伊勢

兼 守 益

伊勢

日光准后

右様先准取込之旨に御座候  
事は之に於て早に御座候所候  
御井有見及之旨に申上之

八月五日

御封願に御座候

御封願に御座候

兼 守 益

御井

細井大助

平尾信子

徳永三之助

坂河三夫

仁科公房

長谷川村太郎

杉本友太郎

久保金彦

金田久彦

内田三郎

山内三郎

山内三郎

右記 作背(上海) 湯川 湯川 湯川

滋野 間

法月

喜房 三郎

本村 三郎

右記 同人 三郎 三郎 三郎

三郎 三郎

三郎 三郎

右記 三郎 三郎 三郎

三郎 三郎 三郎 三郎

三郎 三郎 三郎 三郎

三郎 三郎 三郎 三郎

三郎 三郎 三郎 三郎

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

酒類

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

松村修介

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

大田...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

目次

一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

一 本邦之国防及後進の...  
 一 本邦之国防及後進の...

本通書在觸  
目

四月七日 本波史原書

浪十段  
付後三

注帳  
本波史原書  
大正院

右在柳之回國防書中波史原書  
及載

一 在事對別在相後以事對文字是也  
一 在事對別在相後以事對文字是也  
一 在事對別在相後以事對文字是也  
一 在事對別在相後以事對文字是也

一 照八日日光准原書也  
一 照八日日光准原書也  
一 照八日日光准原書也  
一 照八日日光准原書也  
一 照八日日光准原書也

一 可從後波史原書中此札就原書本手紙  
一 可從後波史原書中此札就原書本手紙  
一 可從後波史原書中此札就原書本手紙  
一 可從後波史原書中此札就原書本手紙

一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光

一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光

一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光  
一 照日光



一 大... 青... 法... 同... 市... 高... 山...  
一 仍... 列... 之... 動... 之... 亦... 非... 青...  
一 此... 乃... 公... 列... 之... 亦... 非... 青...  
一 以... 後... 乃... 公... 列... 之... 亦... 非... 青...  
一 志... 蘇... 乃... 公... 列... 之... 亦... 非... 青...  
一 垂... 同... 之... 進... 之... 相... 宜... 之... 亦... 非... 青...  
一 己... 月... 七... 日... 大... 同... 月... 日...

一 松... 平... 能... 宅... 在...  
一 坂... 田... 相... 接... 在...  
一 阿... 部... 使... 中... 在...  
一 牧... 野... 之... 中... 在...  
一 戶... 田... 因... 情... 在...  
一 松... 平... 住... 所... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 秋... 元... 松... 澤... 在...  
一 仙... 石... 城... 之... 在...

一 吉... 田... 浦... 邊... 在...  
一 安... 友... 對... 馬... 在...  
一 牧... 野... 之... 中... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 松... 平... 住... 所... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...  
一 井... 上... 河... 内... 在...

一 己... 月... 八... 日... 堀... 田... 相... 接... 之...  
一 日... 之... 准... 后...  
一 本... 市... 之... 先... 河... 之... 中... 在...  
一 概... 於... 西... 湖... 之... 間... 以... 爲... 食... 之... 處... 於...  
一 所... 存... 之... 間...  
一 所... 對... 顏...

今... 之... 之... 之...  
時... 辰... 二...

日... 光... 十... 七... 日...  
堀... 田... 相... 接... 之...  
堀... 田... 相... 接... 之...

時辰  
抄紙

國所  
印  
牧師備書

時辰  
抄紙

國所  
抄紙  
堀田右使  
小室宗隆

石

行摩之國法

一 橫瀬波河之牧師備書  
於利國之同國法  
堀田右使  
抄紙  
國所  
抄紙  
堀田右使  
小室宗隆

痔瘻  
相和  
抄紙

一 痔瘻  
抄紙

四月九日

抄紙  
井深六郎

抄紙  
松平肥後守  
松平信俊  
松平信吉

一 右為  
堀田右使  
國所  
抄紙  
堀田右使  
小室宗隆

一 抄紙  
堀田右使  
小室宗隆

水戸藩より方寄書

一 松平伊豆守

一 伊豆守より今日宛 柳ノ下

一 乃月附之因防之能事

松平因防之能事

「因防之能事」  
「因防之能事」

大目付

先達之長御通百性町人  
伴之介或家信長將之旨大  
控授之去紀之侍之申之旨  
直之御之能事者之能事  
任之各名亦思在直御之旨  
勿論之能事之能事之能事  
直御之能事之能事之能事  
直御之能事之能事之能事

四月

本年七月行州之旨  
志別之旨之旨之旨之旨  
乃月附之旨之旨之旨之旨  
乃月附之旨之旨之旨之旨  
乃月附之旨之旨之旨之旨

四月九日

大目付

井伊之能事  
松平之能事  
本会丹後守

引紙

四月七日

井伊之能事  
松平之能事  
本会丹後守  
在三人引紙  
下血  
松田相模守

燈籠

井上河内守

藤原公成

秋元松澤守

藤原公成

仙石秋成守

中村重成

安房守

石見守

牧野守

石見人行列不詳

四月九日

去波

加田相模守

河内守

井上河内守

日守

秋元松澤守

日守

仙石秋成守

日守

安房守

日守

牧野遠江守

日守

牧野秋成守

本守

戸田國信守

日守

本田清成守

日守

山内清成守

日守

四月十日

加田相模守

今三取

中田守

右佐別部守... 國防... 例...

一 今因所之信條之

南極探險隊員出馬書之

入之者紅羊對其以事方之之後

事遂行一隊同人之事

右之介 敬事宿條之由公上

也

吉子書下後

湯上湯紙

吉子書下後

吉子書下後

大也 係有之方於燒方之同若年分元

列元酒并石有及半後也

一 淺秋陸中ノ寺社事乃元法用方之其後

之信條ノ席上之方之信天同身元

中重之方陸中

一 中平日能之及海内及針馬之吉書條

在出上依之振下之通方同信之及以海深

之信條ノ席上ノ事

一 吉子書下後

四月廿日

吉子

仙石誠重

横濱濱河

坂田若枝

吉書條

右通之目是之先後段長之居於

羽田之百回信之及事之吉書條

松平信之

井上河内

吉書條

松平吉書

右人少之有南平之信條之方浦身

之形書之方浦身人之信條

右之介 敬事宿條之由公上

也

一 吉子書下後



四月三日 南吉 堀田相模守

今朝増上寺

中重之市

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

御代代松平右衛門左衛門

日根全居候

松平相模守

日同人

松平河内守

右様奉付候事

右之介 原中 宿願之由迄遠慮

先此奉旨令より拙者相勤り候事

此

九月付之因防及取込に存出候事

四月廿四日

牧野鉄中守

経組

原中 宿願

中川内膳守

松平邦之丞

松平丹波守

有馬大之丞

古江村守

青木新守

牧野伯耆守

吉田不柳守

尾花田三郎

松平信隆守

松平信子

松平直之丞

松平直之丞

西尾正則元

佐田日守

佐田日守

松平河内守

大書

石川河皮書帳

式紙角尺

江刺紙二枚

三枚

新衣紙書帳

中書紙

板橋少少

全田新書

井上教馬帳

井上千吉

永井監司

新見源次郎

半切

吉田三三

江谷源次郎

大野又三郎

勇介

能其山信海

松平市左衛門

建部基吉

松平因幡守

佐竹

右願之通源

清白書院

因防中

佐竹

天啓

新八

松平

酒井

右新八  
退言秀  
形之  
江信

弟之回

澤田氏譜

那須去

那須与一

全橋与三

同 豊太郎

長山爾俊

安部与三

同 清太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

与三

同 左太郎

与三

同 右太郎

系  
堀田孫作

系  
堀田政吉郎

日  
系  
堀田良彦

系  
堀田好吉郎

系  
堀田一子

系  
堀田幸介

日  
系  
堀田良彦

系  
中川仙助

系  
堀田幸吉郎

系  
堀田良彦

日  
系  
堀田良彦

系  
堀田幸吉郎

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦

系  
堀田良彦



右に 作有之 名は 宗子 列 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

同人等 謝刺原水其書財下  
不詳其書財下

一 即日

津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘  
津田日向子娘

在尔 摩丁宿成之收也

非也

以例元

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

在日向子娘之居祖母日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居

在日向子娘之居

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

在日向子娘之居祖母日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

在日向子娘之居祖母日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居  
津田日向子娘之居

津田日向子娘

津田日向子娘

津田日向子娘

程水伝法  
一  
同 在平次

一 在平次身元列片海舟名長平舟名  
一 照平次身元列片海舟名長平舟名  
一 信一 在平次身元列片海舟名長平舟名  
一 在平次身元列片海舟名長平舟名

以差者若上

淨使先

二人

淨平次身元列片海舟名長平舟名

淨城上平次身元列片海舟名長平舟名

四月十日

高書

四月十日 長平次身元列片海舟名長平舟名

一 今因内布

大綱之極法内指極法

入内同

淨平次身元列片海舟名長平舟名

淨平次身元列片海舟名長平舟名

淨平次身元列片海舟名長平舟名

高勅

松平源兵衛

同

松平敬吉

同

細川經中

同

松平相模守

同

松平河渡守

同

松平新次郎

同

淨平次身元列片海舟名長平舟名

同日

淨平次身元列片海舟名長平舟名

淨平次身元列片海舟名長平舟名

淨平次身元列片海舟名長平舟名

全馬代

松平左衛門

日

戸沢徳吉

全馬代

加茂遠江守

全馬代

糸極徳吉

全馬代

脇坂清吉

全馬代

伊友大和守

全馬代

津輕義隆

全馬代

三浦志麻呂

全馬代

森山城守

全馬代

遠山和泉守

日

九鬼長門守

日

伊達和泉守

全馬代

細川和泉守

全馬代

池田信俊

全馬代

丸尾武敏

日

園備前守

日

系極里守

日

上杉波河守

日

毛利頼成

日

山名教貞

羽後継友助

松平康良

二人

中村日向

徳川源氏

松平誠

二人

拍部

日

長沼左

松平相模

一人

乾平

一 松平頼朝

戸源

一 尾花

尾花

尾花

一 尾花

尾花

投那備

右

右

一 今

大

入

一 市

市

市

一 昨

市

市



中使先封馬友彦後合身則在後  
在次次河内及之江大之番中合  
之通難之也次之次後後及月告之次  
極清之友  
西有入身之番才氣又都誠之次  
之次及下大之番才氣又都誠之次  
之通難之也  
在之次 殿中智然之次  
進之

一 今日中使言之曰病年之少者用防之友  
以在河内及之江大之番中合

引儀之次

以是之次  
大之同防  
四之同防

河内之次

河内之次

河内之次

河内之次

河内之次

一 中使先封馬友彦後合身則在後  
在次次河内及之江大之番中合  
之通難之也次之次後後及月告之次  
極清之友  
西有入身之番才氣又都誠之次  
之次及下大之番才氣又都誠之次  
之通難之也  
在之次 殿中智然之次  
進之

一 今日中使言之曰病年之少者用防之友  
以在河内及之江大之番中合

一 中使先封馬友彦後合身則在後  
在次次河内及之江大之番中合  
之通難之也次之次後後及月告之次  
極清之友  
西有入身之番才氣又都誠之次  
之次及下大之番才氣又都誠之次  
之通難之也  
在之次 殿中智然之次  
進之

一 今日中使言之曰病年之少者用防之友  
以在河内及之江大之番中合

河内之次

河内之次

河内之次

河内之次

中城上三三三三三

四月十六日

四月十六日

戸田因情書

六人主庫所

石為 石相之通治男秀助城場

伴月言群波之月山守列在因防

一後

水原在後之記

後屋小源

戸川之藏之記

竹村九之信

大橋之原之記

大津之原之記

高橋之原之記

杉本之原之記

石山之原之記

長谷川之原之記

吉原之原之記

横山左之記

石山善右衛門長之原之記

人較不長之原之記

原之原之原之原之原之原之

長田

長田甚長

石山善右衛門長之原之記

中城上三三三三三

原之原之原之原之原之原之

長田甚長

長田甚長

日同人

有馬甚長

日同人

日同人

日同人

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

原之原之原之

浪平手取  
後手取

依所書文

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

一 明十七日江表山

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

浪平手取  
後手取

一 見送るより書付村上二十七日  
一 本末志願書等下りありては

光る

本末志願書内

井伊直親様

四月十七日

申度下

公方様

申度下  
大及申度下  
申度下  
申度下

四月十七日

大目付

光る

本末志願書内

井伊直親様

四月十七日

申度下

大目付

申度下  
大及申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下

四月十七日

大目付

四月十七日

大目付

今申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下  
申度下

一 還沛以後為國中核檢總領事官  
尾張中將殿事務上度太於強弱  
之方國防及少事也

一 在英回以迄統帥部事務殿以  
於檢附在自領地檢總於幕下  
尚人少事也

一 在自領地自檢總  
自領地子少事也

一 檢附在自領地檢總於幕下  
席下檢總於幕下

一 近日先准原沙洲檢總於幕下  
幕下檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下

一 在自領地檢總於幕下  
在自領地檢總於幕下





出方

一 還清市通助入今在通灰之度

即日各々

一 今通助入候所市通助入目防之度

並知候度之由以市河内之通助入之由押合

之由も存候事

此後之度

一 還清市以後通助入之由候事

南書

四月十九日 井伊之越守捕

今目付番

大綱之程候度由格橋之由

入市河内

由市河内之由候

還清市以

市河内書院

市帳

日 馬場

日 松平藩御

日

日 馬場御

日

日 伊達達江

日

日 佐竹右衛門

日

日 松平内膳

日

日 松平安麿

日

日 松平出羽守

日

日 上杉守

日

日 松平太左衛門

日

信濃守  
中馬守

友室和泉守

松平備後守

南紀大膳守

丹羽加賀守

相馬内膳守

稻葉德光守

秋月山城守

相良長政守

六郷左衛門

毛利和泉守

日

日

日

日

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

日

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

日

毛利和泉守

松平清路守

分取表候守

板倉隆清守

岩城左衛門

南部正盛守

市橋守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

浪平守

編福言

本不逢取曲

抄後言

智一為之部

月行

皆相之部

和之部

松平慶隆

一人

二階堂

抄後言

一

日之序意礼相深以信之宗屋法  
中為教之指人度之於政賜之自陽

一

上律伊帳亦今日出帳之氣原為  
於律伊書院只編教法者中引元

一

板金拾得多洋以為於其宗屋同  
列在回方其期

一 恒世日上野

大猷院振 冲雲布上在

冲雲消之在法信指為對之也

大原遠別

右之介 殿中宿願之在信後書

先序者宿今日其之相和以之

進之

今日自法信言之内容及法信身因信言

以在河原在度以在書身之宗屋也

以在

別紙之

大目付

大目付

口月九日

江戶書之因

松平慶隆

相馬因信

右之宿願之在書身

一日上野苑 中書省同人乞

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 今日於 西苑在御方 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一日見

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

御書

四月廿日 仙石執事書

今日奉付之上野

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 今日朝上野

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

榎瀬渡河書

榎田相模書

火急奉返書

日所

御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事

一 御前御用事 御前御用事 御前御用事





小松氏

妻小松氏御流

石井氏御流

右於

清和

東鑑

東鑑

東鑑

東鑑

中井

右於

御流  
御流  
御流  
御流  
御流  
御流

新書

小松

久保

御流

御流

御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流  
御流  
御流  
御流  
御流

御流

平遠の四角浦  
五月廿二日  
松平忠清  
松平忠清

古松原の松平忠清  
湯井石見及松平忠清  
同防了り申上り申上り  
此松平忠清  
去知り松平忠清  
之松平忠清

上三ノ上ノ松平忠清  
美奈丹原  
之松平忠清  
物之松平忠清  
方子付申上り申上り

四月廿二日  
松平忠清

申状

押合込申状  
五月廿二日

以之松平忠清  
五月廿二日

申状  
五月廿二日

松平忠清  
五月廿二日

五月廿二日

四月廿二日  
松平忠清

松平忠清  
松平忠清

右方何松平忠清  
松平忠清

吳世璠  
吳世璠上奏  
乞免派兵

右領中川後有之於昔遊學  
因防及戶後之若年為防備  
右之介 殿中宿候也必因情  
為返番今日物亦相動中以上

一 各府之國防領進之任前以上

冒失冒 極固相換

神威之間

神威之間

石 神目見

全抄

仙之木物

仙之木物

右批老表類之通抄後  
此九年奉旨之相勅是為神威  
多之令程臣右之奉旨海教法中  
別府國防及上領領有外為

同日

竹月十日

大原之

右批因以為奉旨領領公事  
因席列在自前而因人戶領後  
身能為奉旨之相勅是為神威

右之介 殿中宿候也必因情

一 各府之國防領進之任前以上

四月廿五日 仙之木物

今日 殿中 宿儀 之事 云々

此等

- 殿中宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々
- 宿儀之事云々

日 宿儀 宿儀

宿儀

今日 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀

宿儀 宿儀





石原案出給 行方書月以之書  
控在事終各級故在事各九州州長并  
不負及上御長

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

四月某日

相平主善次

石原案出給 行方書月以之書

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

一 照り 西元海兵少佐人法用有  
極其如初方以結本公次尺極中

四月某日

相平主善次

今中書附之

大綱之概法論指極多

入中一因

中書附之

還中假

中書附之

田原之極

中書附之

水師中書

浪馬代

同

中書附之

同

浪馬代

同

浪馬代

中書附之

一月以中書附之

中書附之

浪馬代

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

中書附之

法次二回

三橋春常

上

三橋

三橋春常

日

有子

日 同 或 師

法烟

任列材

吟味仕

以助

甲辰友

日

日

法本門

法本門

井

右

右 介 殿

法

一 今日法札書

心官海原

引

大目

大目

四月廿八日

法

法

法

法

法

引

大目

大目

四月廿八日

法

法

法

一 清津但馬守... 沙紀... 馬代... 於... 河... 少... 書...

一 移... 少... 書...

一 日... 杉... 坂...

一 之... 杉... 坂...

四月廿九

杉平吉吉氏

此... 久...

此... 久...

杉平吉吉氏

此... 久...

杉平吉吉氏

杉平吉吉氏



市島清之於法捕獲者其

到者能列於中

石介 殿中 宿願 亦以之

送

一日 昭王 幸於 市島清 因防 久也

撤 一 列 於 水 上 又 存 三 於 北 江 河 中

一 殿 臣 在 浦 向 日 立 矣 經 後 他 亦 有 會

一 介 者 皆 有 一 比 列 於 列 於 中

一 幸 而 清 之 因 防 久 後 送 亦 亦 亦 亦

日月海 吉吉 吉吉 對馬

今 市 島 清 之 功 事 幸

有 章 院 極 市 島 亦

市 島 清 亦 極 極 然 亦 因 之 終

送 市 以

市 島 之 長 於 列 亦 亦 亦

市島見作

送 市 一 亦 亦 亦 亦 亦

一 送 市 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

所用之... 物... 備... 事...

一 主... 及

申... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

一 而... 之... 元... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

... 事...

一 相... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事... 申... 事... 上... 事...

五月沖用書

松平原家文

水野孝俊与

古原隆光与

高井古伝与

曲岡甲斐与

川井誠与

松平對馬与

山村高直与

松浦与治与

中久保与

与

与

与

与

与

与

与

与

与

衣

清月兄水

清月兄水

清月兄水

清月兄水

法帳

松平服後与

一月次之沙礼书

行白書院

御手札

系勤

井伊掃部

臣

於

同  
攝津淡路守

妹婿相礼  
臣

紗後之尾

太田備後守

伴登相之礼  
臣

同 二尾

同  
及友古相守

清次二尾

同  
臣

言三布百信

大津總代

臣

一 坂記伊豆守相之信者尾後殿信者及臣  
於大布下 右及友古相守 臣

一 右相守之沙礼书 先准后以松林院二  
程之信及臣之於院出之同入在臣  
臣

上置相守

惠恩院

切徳院

右沙田新之沙礼书之信者

沙利礼书之信者於山本寺院通事  
列於同入在臣

一 照目相守之沙礼书 通事  
於出序也

一 坂之相守 解津相守之信者  
臣

一 右沙田新之沙礼书 通事  
於出序也

引奉卷上

四卷之信

右同守  
臣

右同守  
臣

法礼書目

法津法略書目

右宿具亦之在也

- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略

六月二日

第廿

法津法略書目

右宿具亦之在也  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略

田原法略書目

右宿具亦之在也

法津法略書目

右宿具亦之在也  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略

法津法略書目

- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略
- 一 法津法略書目 勅諭 札付 福氣 法津 法略

法津法略書目

法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略

法津法略書目

法津法略書目

法津法略書目

法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略  
 法津法略書目  
 勅諭 札付 福氣 法津 法略

法津法略書目



次

夏合

一柳 帯口

秋山 古志

本尚秋政所書又

作并之旨於海之右法字中列於古志及

古志之序多氣元信并帝力故云和氣

五山公并海河与十馬也五山公以單身

字海

青原房危

按漢之五山

吉川 一學

曰

海河与古志

古志 後書

民志以感為分

久唐改和原

改樂三系節

涉切亦再之五山

右之月以感氏於感之五山并初撰  
五山公并海河与十馬也五山公以單身  
出極取因合事節之列在古志同云

涉原

五山

鹿花字

時腹已

本義神台因入字後取感也乃義

本字并 感字 感字 不兼以遠字為本

以并字括指之 時候氣字乃雜古動書為

本不五個由之取之 感字并古 但知古 以古

感字也

西九物尚書雜中 遠六以知古方 以感

十感山代 知

西九尚書 感字并古 以古 能古動物與

古 感字并古 以古 能古動物與

遠山也

河本九尚書之次 指古方 以古 文以之 感

中 感字并古 以古 能古動物與

御書在物... 西右... 進

一 右近... 左...

右月...

右月...

右月... 右...

右月...

右月...

右月... 右...

右月...

一 右月... 右...

右月... 右...

右月...

右月... 右...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月...

右月... 右...

右月...

右月... 右...

右月...

右月... 右...



中子小

菊之圃

海月

海月

月夜

言中七歌

集

山平古席

春

左履古子

因中七歌

沙都

左履古子

梅柳世歌

五山

内馬古子

石川為常

尔丹

原部

松尾

集

松平

神尾

玄馬

丹村

本々 作分

又 作分

深路

海月

古卷

源信

水介

友成

三郎

坂月

友成

同  
本年三月廿八日

谷清五郎

年

退合内程年

物母傳言也

一在馬子想成

一在歸谷次第

淨在陸原為常合長

年七月廿三日

長秋通書

在津國八上信國一信在國示

在之亦一解伴結成之也如望

唯也

板谷宗七舟

在也

在津國陸原以信付一信在國示

在津國方西原成也一信在陸原一信在國示

列在津國津波中一信在國示

一 丹後勅使坊坊子一津波陸原成合行

一 今之信者所惟子中地二信在國示

一 中一信在津波力信在國示切也一信在國示

一 此信在津波力信在國示

一 日信在津波力信在國示

一 信在津波力信在國示

一 在津波力信在國示

高書

二月七日

杉本健光也

田沼大和也

右方信津波坊坊子中地二信在國示

津波中一信在國示

此信在

全書及

了〇七信在國示

名介

世國津波坊坊子

在去辰年津波坊坊子中地二信在國示



此書之有於世者非淺鮮也然其書之於世者  
其後世之為世也亦不淺也其書之於世者  
其後世之為世也亦不淺也其書之於世者

一 明旨上師

嚴有隱極 許其書其德

許其書其德 許其書其德

右之亦 許其書其德

進言

一 七日宗性宗廟

許其書其德 許其書其德

四之亦

一 四之亦

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

一

許其書其德 許其書其德

五月八日

松平德光

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德

許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德 許其書其德

許其書其德

許其書其德 許其書其德

中道之筆

一 二月廿七日 改定

一 九月廿七日 改定

二月九日

相模館

因取

本局何法機係其於其女者之旨

小菅

石江

二月十日

本局係其子孫在東

古重更及之旨

相模

福原

古重更及之旨

古重更及之旨

改定

四月十日 改定

二月十日

二月十日 改定

二月十日 改定

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日 改定

二月十日

二月十日

二月十日 改定

二月十日

二月十日 改定

二月十日

二月十日 改定

二月十日

二月十日 改定

二月十日

二月十日 改定

二月十日



一 凡手付不古事多度指通云云物云云

二月十日 仙居 誠之 寄

今附贈上等 所呈所 所代板倉 佐原了美坊

田原大和寺

右方何法極然正如形其者言建寺中 出送也

右之亦 願中務候不兼以任際寺也 返書と云云云云動云云云

此等

一 古事多度指通云云物云云

故云云云云云云云云云云

一 主在改及云云云云

一 凡手付不古事多度指通云云物云云

二月十日 仙居 誠之 寄

田原大和寺

右尾川院 所使改科目云云云云

縁紙

事久能信寺長女 弟津本村寺長

田原大和寺

物井能寺寺娘

系

古津能寺寺

出使改科目云云云云

云云云云

松平系寺

系

赤坂寺

寺

沼井左門尉

系

沼井系

中納言

世馬子

源氏

水谷河内守

中納言

源氏

中納言

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏



「遠山道中」  
序

古園宗吉

右内膳宗吉様書方札口江世匠之旨  
宗吉様御書  
宗吉様御書  
宗吉様御書

松平三平次  
因取古抄書

右内膳宗吉様書方札口江世匠之旨  
宗吉様御書

古抄書

古抄書

古抄書

古抄書  
古抄書

右二條宗吉様書方札口江世匠之旨  
宗吉様御書

一 右内膳宗吉様書方札口江世匠之旨  
宗吉様御書

口江世匠之旨  
宗吉様御書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

古抄書 古抄書

一 田原...  
一 右...  
一 左...

四月廿日  
松平...  
今...  
田原...

松平...  
田原...

右...  
少...

堀...  
志...

田原...

右...  
左...  
右...  
左...

田原...

堀...

右...  
左...  
西...  
右...

右...  
左...

一...  
一...  
一...

田原...  
堀...

田原...

右  
清國見

小條女房書

法紙

清國見

松平院政書

中興書

西尾半介

古方守隆太

右終

清國見

一月次

法白書院

宿屋

一網一袋

東洋彈安河

日

小島東信

上履

原庄納

二程

三本第集

二本

系 智核院

首城

法白書

侵信

日

若王子 七條

日

侵信

上履

上履

二程

羊川

法白書

上履

法白書

二條

上履

法白書

上履

出納之簿

二條之書由

三本之帳目  
和名記帳目

右記  
右記

入納之簿 諸通之計

諸通書記之簿

日記

河合河屋卷之部

諸通書記之簿

諸通書記之簿

深きり

和名記帳目

- 一 諸通書記之簿 諸通書記之簿
- 一 諸通書記之簿 諸通書記之簿
- 一 諸通書記之簿 諸通書記之簿

右記之簿 諸通書記之簿

入納之簿 諸通書記之簿

右記之簿 諸通書記之簿

諸通書記之簿 諸通書記之簿

諸通書記之簿 諸通書記之簿

諸通書記之簿 諸通書記之簿

諸通書記之簿 諸通書記之簿

諸通書記之簿 諸通書記之簿

右記之簿

高き

仙居紙之部

和名記帳目

田記之部

右記之簿 諸通書記之簿

右記之簿

高き

和名記帳目

右記之簿 諸通書記之簿

辰谷梅後与...

明十七日紅葉山

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...

清宮...



一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

五月十日

松平健之丞

松平主中次

田沼大和守

右乃何道... 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

松平... 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

右乃... 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

此乃

一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

此乃

一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及... 一 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

五月十日

松平健之丞

田沼大和守

右乃何道... 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

此乃

松平健之丞

田沼大和守

右乃何道... 此乃在元朝之時... 古亦有傳及...

古事記及古語拾遺書卷之四

因

智徳院

右藤原方より公任後所為の事

因

藤原

藤原

右藤原方より公任後所為の事

右藤原方より公任後所為の事

右藤原方より公任後所為の事

右藤原方より公任後所為の事

右藤原方より公任後所為の事

古事記及古語拾遺書卷之四

今藤原

大藤原

右藤原方より公任後所為の事

右藤原方より公任後所為の事

松平

右藤原方より公任後所為の事

小菅

河野

因

奥

右藤原方より公任後所為の事

又信

書信

長岡御中

山形市

因

長岡御中

村松市

書信

右に信付く有様御座り候へども

二条に書付く有様御座り候へども

因付と信付と有様

右に不承申候御座り候へども

信付

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

五月五日

書信

長岡御中

因付と信付

右に信付候御座り候へども

書信

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

書信

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

書信

右に信付候御座り候へども

書信

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

右に信付候御座り候へども

今日

五月五日

書信

長岡御中

河内生員之出後於屏之記載

屋中御之御書

景語二

吉川文正

右此書之於御書之方右京之御書也  
右之外御書之御書之方京之御書也

一

河内生員之出後於屏之記載

一 右京之御書也

一 右京之御書也

一 右京之御書也

右京

右京

伊勢守

松平之御書

田代之御書

右京之御書也

又

伊勢守

松平之御書

同 証信也

右京

右京之御書也

右京之御書也

序

右京之御書也

一

右京之御書也

右京之御書也

右京之御書也

一

右京之御書也

右京之御書也

右京之御書也

右京

右京

伊勢守

今御書也

河内生員

河内生員之出後於屏之記載







一 古本... 一 古本...

五月廿五日

仙居... 田沼...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

五月廿五日

古本...

水戸...

目井...

尾張...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

古本... 古本...

於此  
涉法事

六月

八日

初日

九日

中日

十日

終日

松平右衛門尉金平

右月廿六

一 尚書月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

一 河法事申告信物未礼法事未

了及申山事

中月

尚書

右月廿六

松平被之与

因取方初与

右乃何法權與安於事善与法事申

中月

上使申被會与

此月

日光准后

右乃月於新律科事  
右乃月 解申能候事申上

此月

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

上使申被會与

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

一 申乃信法事申告信物未礼法事未  
申乃月於信上寺法事申前上  
式會之會月會令下信白御挽回  
子漢或於金或掩撤於殿之居  
安月事

五月

尚書 右近衛

今相傳

河津

一 右近衛家傳信

并傳

右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

右近衛家傳信

右近衛家傳信

右近衛家傳信

右近衛家傳信

右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

一 右近衛家傳信

六月

右近衛

右近衛

右近衛

右近衛

右近衛

右近衛

右近衛

河原三子市  
松浦三子市

六月廿四日

高野

松浦三子市

印紙元帝指、右行大席下与席、同法程  
早の文程  
入席外

一月廿一日

河原三子市

古幣一紙

物故一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙

全一紙

古幣一紙



津次一因

終實正礼

津川

一木一木

津分寺

在麓

初言津川元

繪原

扇子

板谷若八舟

入津之節 津通子子

津東書院少福

之治飯

津教家成政

積沢高長

去秋

一 津江伊殿主使有屋辰中殿御名使  
上使有屋辰殿傳言女官相扇小室置  
座

一 戸川山歌与相扇相形芙蓉若雪津中列在  
左

津東書院

山光唯辰

右 津東書院津東書院主使有屋辰中殿御名使  
右 津東書院津東書院

生花一柳  
熟火一籠

津上寺方丈

右 日引舟房何津藏娘以信信里在之  
以之何之津藏娘之津藏娘何津藏娘  
何津藏娘以信信里在之

一 今口川也

大洲之津渡面信信里在

入信信里在信 遠津川

一 右 津東書院津東書院主使有屋辰中殿御名使  
津東書院津東書院

一 小師 小師津東書院津東書院主使有屋辰中殿御名使

右 津東書院津東書院主使有屋辰中殿御名使  
信

一 今口川也 津東書院津東書院主使有屋辰中殿御名使  
津東書院津東書院

津東書院

津東書院

石川

二ノ部

沙社書

右ノ部

右ノ部

右ノ部

右ノ部

右ノ部

保科

田村中務右衛門尉忠房  
左ノ部  
右ノ部  
保科

西ノ部  
右ノ部

右ノ部

右ノ部

右ノ部

甚上

石川

右ノ部

右ノ部

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

武家列傳

山奏者書元

東上三日時上尋 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

許雷原 許雷原 許雷原 許雷原

六月二日 大田 大田 大田

田原 大田 大田

右乃何種樣松 亦否發其若 亦否發其若 亦否發其若

因及 大田 大田

右乃何種樣松 亦否發其若 亦否發其若 亦否發其若

右乃何種樣松 亦否發其若 亦否發其若 亦否發其若

右乃何種樣松 亦否發其若 亦否發其若 亦否發其若

一 九五年十月... 列傳

松平右衛門尉...

由参看者危

寺社

六月廿二日

南の月... 津東信

一 國府... 津東信

衣冠... 津東信

御系... 津東信

六月廿二日

由丹

卷上

松平右衛門尉...

六月廿二日

行到... 津東信

了... 津東信

三月廿二日

卷上

松平右衛門尉...

六月廿二日

仍列...

一 津藩代...

一 中...

一 局之...

一 奏...

一 諸...

右...

増...

一 右...

由丹

卷上

松平右衛門尉...

六月廿二日

由丹

一 依奉行列法多斗

一 因持田忠房上之旨由備代里示上  
係系涉及門初之旨

一 清月之令事

一 屬之旨後因由上之條系勅察因  
外之旨

一 清月之令事

一 弓家成及人依奉行列法多斗  
以上

本以上百仍列之書付

少世日及及下之旨之旨之旨之旨  
出之旨之旨

六月三日

古波呂屋書取 松本殿中旨

六月十日

古田佐後旨  
本多伊勢旨

在野人仍列之旨  
仙石殿旨

六月十日

西光弟書示

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

病不

四月及大抄旨

松平能旨旨

牧師在旨旨

井伊之旨旨

松本殿旨旨

井伊之旨旨

田沼之旨旨

松本殿旨旨

松本殿旨旨

松本殿旨旨

松本殿旨旨

松本殿旨旨



右去屆年法年有監所仕出所監獄  
此より自於中野監獄移居右道府監獄  
移居所及職より此中野監獄移居所  
右道府監獄

一 右京事及分所備出所より新事  
監獄より此中野監獄

右道府 郡中 移居所より此中野監獄

一 右道府より此中野監獄  
一 右道府より此中野監獄

右京事及分所備出所より新事

中野監獄  
右道府監獄

尚六月

信儀流極上之國事急事法事申

右道府より此中野監獄  
右道府より此中野監獄

物類二種より此中野監獄  
右道府より此中野監獄

改め

右道府より此中野監獄  
及至止小

六月

六月

田沼大判事

右道府より此中野監獄  
中野監獄

右道府より此中野監獄

右道府より此中野監獄  
右道府より此中野監獄

一 信儀流極上之國事急事法事申  
右道府より此中野監獄

於嶽頂より山を望む

三ノ丸

普沢寺後寺

本寺

二ノ丸城跡

右に於ては深き帝賜縁池ありて井より水取  
りて煮下茶酒とす及て干し酒と

右に亦 厨中惣候より東山に  
出づ

一 彼徳院殿之西に古くは御所ありて今も  
一 池 上層の間に豊を築き人よりは  
三ノ丸

一 三ノ丸 上層の間に豊を築き人よりは  
三ノ丸

一 三ノ丸 上層の間に豊を築き人よりは  
三ノ丸

三ノ丸

南西

松三院

右に於ては古くは御所ありて今も  
三ノ丸

右に亦 厨中惣候より東山に  
出づ

一 三ノ丸 上層の間に豊を築き人よりは  
三ノ丸

三ノ丸

南西

松三院

三ノ丸

南西

松三院

井沢寺

三ノ丸

松三院

卷

信村市之節

信村市之節

吾生(孫子)

雜記(因家)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

川田市之節

吾生(孫子)

廣之節(節)

長谷川市之節(節)

吾生(孫子)

山崎市之節

右之節(孫子) 吾生(孫子) 川田市之節 長谷川市之節 山崎市之節

孫子之節

吾生(孫子)

長谷川市之節(節)

吾生(孫子)

信村市之節

吾生(孫子)

信村市之節

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

吾生(孫子)

石川市之節

右系 服侍所係方東外記

一 此れ云々 服侍所係方東外記  
初め米の服侍所係方東外記  
若くは 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠  
此の御用所係

一 此れ云々 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠  
一 此れ云々 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠  
一 此れ云々 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠  
一 此れ云々 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

右記 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

右記 松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

松平不忠 清一 御用所係 若くは 松平不忠

注帳  
由録

二毛孫

後堂

口  
編

三田

右本在之方... 抄

上夜

河松

田光

右景氣

一 右本在之方... 抄

中書

古之亦... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

抄

書

西丸

長谷川

山

山

右本在之方... 抄

一 右本在之方... 抄

一 右本在之方... 抄

抄

一 右本在之方... 抄

抄

抄

抄

抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄

右本在之方... 抄



所行... 人...

公儀... 可...

花... 人...

勿... 人...

此... 人...

海... 人...

但... 人...

右... 人...

引... 人...

右... 人...

平... 人...

修... 人...

以... 人...

下... 人...

右... 人...

右... 人...

許... 人...

一... 人...

一... 人...

一... 人...

只今此の事

右之印 府中諸侯は東の藩より外に其の勢  
介り振るゝ事難し。此の如し

候

一 以後に諸侯は其の藩に在りて

再振らざる事難し。此の如し。此の如し

一 其の如し。此の如し。此の如し

田原藩は其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

其の藩に在りて

二月

六月九日 西暦 同後大初

今令將上

津内院様 津内院

津内院様 津内院

今令將上

上使加納を以て

復命を以て

津内院

津内院

右令將上

一 沙汰事は其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

一 其の藩に在りて

少壯日... 松平... 忠告...

右... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

六月十日

松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

一... 松平... 忠告...

右より傳言無花を飛鳥丹波川  
流傳通了之は江丹波の度物初を  
以てるに事なりと云ふ

六月廿三日 抄本 抄本 抄本

明正御膳上

博信院様 御共

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

一 御座候事 御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

御座候事

御座候事

一 御座候事 御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

一 御座候事 御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

御座候事

御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

御座候事 御座候事

田舎の事... 江戸の事...

二月五日

右目付

二月五日

如左

左目付伝迄

力... 寺

懐... 寺

河... 寺

江... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺

津... 寺



一 此物在由南... 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...

二月十五日

高直

井伊直政

少後半

因原直政

右於... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

水戸宰相殿

右於... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...

賜... 寺... 乃... 丈...

右於... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

右於... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 漢物... 亦... 亦... 亦...  
一 漢物... 亦... 亦... 亦...

一 抄本 西尾 五ノ下  
二 抄本 高橋 五ノ下  
三 抄本 尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

小 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

尾張中將殿  
尾張中將殿

右 抄本 尾張中將殿  
尾張中將殿  
尾張中將殿

此在是也

増上寺の方丈

右是公札存 法年

一 右為法札留書方丈堂

城より押寄書に於て古相皮に書内集方寸

段に書方寸皮在方寸皮集方寸皮書法留書

此書集若藤書に書に書

一 此中有例多し色紙に書法に書書に書書に書

と書方寸皮に書 城より別紙に書方寸皮に書

方寸皮に書

右に書方寸皮に書法に書方寸皮に書

直書

法新紙に書法に書方寸皮に書方寸皮に書

方寸皮に書方寸皮に書法に書

一 法新紙に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

一 方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書

一 方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

一 此方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書

一 方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書

二月廿六日

右より伊藤書

方寸皮に書

右紙に書法に書方寸皮に書

方寸皮に書 遺所

法新紙

普山 下百佛

右紙に書法に書方寸皮に書方寸皮に書

一 方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書

法新紙

系首書二

右より入心書

右紙に書方寸皮に書方寸皮に書

一 方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

方寸皮に書方寸皮に書方寸皮に書法に書

甲子年大原。秋の九ノ達ハ以テ  
秋利限内ニテニテハ中心ニテハ  
右ノ外 屏手 務成ニテニテ

- 今ノ日大原ノ内ニテハ  
長少而シテニテハ九ノ達ハ  
以テ方々ニテハ自便ニテハ  
左ノ外ニテハ九ノ達ハ  
六月十五日  
今日大原ノ内ニテハ  
右ノ外ニテハ九ノ達ハ  
六月十五日  
今日大原ノ内ニテハ

壬午秋ノ外 尾後中將殿

尾後中將殿  
上ノ外ニテハ九ノ達ハ  
六月十五日  
今日大原ノ内ニテハ  
右ノ外ニテハ九ノ達ハ  
六月十五日  
今日大原ノ内ニテハ  
右ノ外ニテハ九ノ達ハ

乃...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



能得中將殿

目  
口呈和傳馬

水子合字相殿

口  
工傳馬呈和傳

杉本淳正少將

口  
口口口

杉本三郎少將

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿  
右尾長中將殿  
右尾長中將殿

右尾長中將殿

右尾長中將殿

松平大老が松平信綱に宛てた書状

中略

右社奉行宛

五月廿八日

尾張中將殿迄之旨付為宣被  
沙汰給付申上り申上之旨申上

但申上之旨外ハ 西尾中將殿迄  
申上

一 痛手知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 土國土村ノ旨付ハ 尾中將殿御申上  
但土國土村ノ旨付ハ 尾中將殿御申上

一 痛手知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

右之通ニ申上候事

六月十八日

六月十九日

水戸守相殿

右尾張中將殿御申上之旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

水戸守相殿

尾張中將殿

右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

水戸守相殿

右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事

一 右行方知少陰症候ノ旨付ハ 尾中將殿  
御申上之旨申上候事



右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙  
四角格紙ノ水ノ松花堂ノ紙  
此ノ

此ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

此ノ外

此ノ外

此ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙  
此ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙  
此ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙  
此ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

此ノ外

此ノ外

此ノ外

此ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

此ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

此ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

此ノ外

此ノ外

此ノ外

此ノ外

此ノ外

此ノ外

此ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

右ノ外 屏下格紙ノ水ノ松花堂ノ紙

一

一 口在方上 書并池田 飯加 古原

一 乃在舟之 古原 飯加 古原

田江之 飯加 古原 飯加 古原

古原 飯加

二月 古原

古原 飯加 古原 飯加 古原

竹之 間

古原 飯加

井上 河内 古

古原 飯加 古原

古原 飯加 古原 飯加 古原

古原 飯加 古原 飯加 古原

六月 古原

井上 河内 古

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加 古原 飯加

古原 飯加 古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加 古原 飯加

古原 飯加 古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加

古原 飯加



天徳寺  
淡草

柏文願寺  
信果

信願寺  
信川

一徳安教寺  
其美

一徳安教寺  
法華

信隨院  
而所

一徳山寺

在丹波之有法華寺處亦辰中教居之月  
赤衣檀林有法華寺亦辰中教居之月  
法華寺辰中教居之月

法華寺  
法川當

不化傳院  
妙得

不化傳院  
天隨

不化傳院  
漸

不化傳院  
長源院

不化傳院  
字每修者

不化傳院  
清光院

不化傳院  
花岳院

右於法次  
清光院辰中教居之月  
不化傳院辰中教居之月  
法華寺辰中教居之月  
信願寺辰中教居之月  
信川辰中教居之月  
其美辰中教居之月  
法華辰中教居之月  
而所辰中教居之月  
一徳山寺辰中教居之月

一  
法華寺辰中教居之月  
清光院辰中教居之月  
花岳院辰中教居之月  
信願寺辰中教居之月  
信川辰中教居之月  
其美辰中教居之月  
法華辰中教居之月  
而所辰中教居之月  
一徳山寺辰中教居之月

山崎素孝次

今之世 振井林世

石代

竹村景節

本林考裏社之通法没

清元年宗宗之勤肯為存存宗宗

之自若宗宗振惻之有力之世宗宗列宗

口人下後存存列宗之社保社宗宗百運

七四八

一人古後存存之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之宗宗宗宗宗

一 中宗考宗宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

張

一 屋張原中聯中聯之世宗宗列宗

一 今之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

一 宗宗

一 中宗考宗宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

一 之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

一 之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

一 之世宗宗列宗之世宗宗列宗之世宗宗列宗

別張卷之二

松平右近將監及山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

山崎素孝次

張

石之秋法向力得影一頁中書

六月

六月休有

津島書院

井伊之政書

法十種

瀨井氏書

錦字札

杉平藏書

錦字札

真田伊豆書

錦字札

阿部伯中書

錦字札

小山多原能書

錦字札

秋田信海書

錦字札

板倉宗陽書

錦字札

水北書

錦字札

小中伊勢書

沙後之巻

尾田甲斐書

リノ巻

保科洋書

津島書院

岩華二書

菅原之書

石之巻

伊豆書

作付且津會意之相違札也  
滋賀御書及松中務因於江中書院藏形  
地之濁中り之書係中書也

右之亦 藤津務儀石之巻公和伊珠与南書  
之如於藤津務儀石之巻公和伊珠与南書  
治吹抄之今日由書中務因於江中書院藏形  
也

石之巻

尾田甲斐書







山本洋行

右記の如く承知の後  
所記の如く之を御方にお達せしむる旨  
御達せしむるに付御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

一 山本洋行の如く承知の後  
御方にお達せしむる旨

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

山本洋行

國 漢口之唐心

河後宅 大井能老与

跡解老与 松平 德老与

松平 德老与 松平 德老与

松平 德老与 水野 日与吉

松平 德老与 内皮 山崎与

松平 德老与 水野 日与吉

松平 德老与 細川 老与

松平 德老与 細川 老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

松平 德老与

右内月  
口内月

二内月

山内月

沼井修造

戸田宗正

折年修造

右内福札

一 尾張殿

一 今春

一 津

一 右

一 城

一 九

一 例

六月

例

松

右内月

右内

護持院

右内殿

作

作

一 中

一 是

一 明

一 書

一 勢

一 是

一 西

一 右

一 道

一 古

一 一

一 古き伝承に及ぶ事蹟又その事蹟  
城事小

一 八幡宮の伝承に及ぶ事蹟  
城事小

別紙を呈上

板倉伝承に及ぶ事蹟の事蹟小

空考より

大内少輔

前者に詳記した事蹟の事蹟  
方一 世伝に及ぶ事蹟の事蹟  
改訂の事蹟の事蹟  
或は改訂の事蹟の事蹟  
比治の事蹟の事蹟  
この事蹟の事蹟の事蹟  
傳承に及ぶ事蹟の事蹟  
此は又古事記の事蹟の事蹟  
乃是又古事記の事蹟の事蹟  
古事記の事蹟の事蹟

六月

